

KGA

'03夏季号
2003年8月31日発行



NO. 83

目次

- 平成15年度関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技...1
- 平成15年度関東倶楽部対抗決勝競技...6
- 平成15年度関東女子ゴルフ選手権決勝競技...14
- 平成15年度関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技...19

- 新規加盟倶楽部紹介...23
- 分科委員会...24
- 月例競技成績表・お知らせ...28
- 表紙Photo 関東倶楽部対抗決勝競技 平塚富士見カントリークラブ
(撮影・塚越克一、増田 収/KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟

平成15年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

飛べ、ペガサス！ 15歳の少年チャンピオン プレーオフの末、伊藤勇氣選手に栄冠

文・杉山通敬 (KGA広報委員)

写真・塚越克一、増田 収 (KGA広報委員)



伝統の優勝杯を手に喜びの伊藤選手

気象庁が関東地方の梅雨入りを報じたのは6月11日、大会3日目のことである。この日は曇天であった。が、翌12日の最終日は朝から小槽雨が降りしきり、時折思ひ出したように雨勢を増した。毎年のことながら関東アマは雨中戦になる。

観戦子も雨仕度をしてトップグループのあとを追った。首位は伊藤勇氣選手。所属欄には(関東ジュニア)とあるが、年齢は記されていない。事務局にたずねると1987年生まれで今年の誕生日で16歳になるがまだ15歳。茨城の鹿島学園高校の1年生だという。

「年ごとに低年齢化してきたことは間違いないけれど、このコンディションの中では案外、ベテランや中堅が伸してくるんじゃないでしょうかね。いずれにしても、コンスタントなスコアを並べた者にチャンスがあると思う」

松本富夫競技委員長が言っていた。グリーンはスティンブメーターで11から12フィートにカットされ、ラフは深い。フェアウェイからのショットは止まりやすいが雨滴を含んだ深いラフからは止まりにくい。

「このコンディションの中で」、15歳の少年がどんなゴルフをするか、まるで孫の応援をするオジさんの心境で小槽雨が幕を張るコースに出た。

ハウスに近い、6番ホールのグリーンサイドで待機する。少年の姿は遠目でもすぐに判った。キャップのつばを少し上向きにかぶっているのが、いかにも子供っぽい。セカンドショットを最初に打った。フェアウェイのほぼセンターから、グリーン右サイドに立つピンの右側へ乗せた。グリーンに向かって歩きながら、グリーン脇に待機していた数人の観戦者にべこりと頭を下げる。その仕草



プレーオフを制した伊藤選手



プレーオフで敗退した芳賀選手



同じくプレーオフで敗退した大山選手

が初々しい。2パットのバー。

7番はフェアウェイ右寄りからセカンドショットし、それがグリーン左奥へオーバーしたものの寄せてバーで取める。

8番(518ヤード、パー5)でも、やはりフェアウェイにティショットを保ち、先行組のグリーンワークが終わるのをまって、フェアウェイ・ウッドで2オンを狙う。当りは好かったが少しばかり右方向へ飛び、雨滴の含んだラフにランを殺された。2オンは果たせなかったがピッチ・エンド・ランの第3打をびたりと寄せ、バーディを射止めた。

9番(217ヤード、パー3)はグリーン左手前のラフへショットする。が、それも次善の策のように見えた。右手前にはバンカーがあり、左奥は斜面がきつくラフもきついから、寄せにくい。2人の同伴競技者も左手前からアプローチを寄せ、3人仲良く1パットのバーで切り抜ける。

余所見はしていられない

アウトは以上の4ホールを観戦したのだが、前の5ホールのスコアも、伊藤少年以外の選手の成績も確めなまま、インのプレーに追伴した。8番のバーディが観戦子の「余所見」を許さなかったし、筋肉もプレーぶりもだぶついていない少年のゴルフを見てるのが面白く、楽しかったからだ。



「パットが好き」というだけあって自信満々ストロークする伊藤選手

雨が強くなる中で、10番のティショットを左セミラフとフェアウェイの境目へ飛ばす。セカンドショットはグリーン左奥へ外し、アプローチは1パット圏内に寄せたのだが、入らずのボギー。

11番(533ヤード、パー5)では第1打、第2打ともフェアウェイをキープしたものの50ヤードほどの第3打を高い球で打ち、ショートする。雨が距離感を狂わせたのか、少年は初めて悔しさを体で表わす。が、4オン1パットのバーで切り抜ける。

12番も1パットのバー。6番からの7ホールは1バーディ、1ボギーである。降りしきる雨の中で15歳の少年は「コンスタントなスコア」を並べつづけたのである。観戦子は彼の優勝が高まりつつあることを感じ、ますます「余所見」はしていられなかった。

13番(249ヤード、パー3)はティショットを右のラフに入れ、ロブショットでアプローチ。それが寄らず入らずのボギー。この頃から雨は小止みになる。14番(498ヤード、パー5)は3オン2パット、15番(350ヤード、パー4)は2オン2パットのバー。

入らなければ負け

残り3ホールとなり、さしもの観戦子も他者の成績が気になり出した。そればかりか、伊藤少年の5番までのスコアさえ確認していないのだ。「これ

は」という選手に目星をつけたら、その選手と心中するつもりにならないと観戦が散漫になるところにゴルフ観戦記のむずかしさがある、と英国の名ゴルフライター、ヘンリー・ロングハーストが言っていたのを思い出す。あっちの選手を追ったり、こっちの選手を追いかけてたりしてはいけない、という戒めである。

腹を括るしかない。その矢先、観戦子が心中を決め込んだ少年は156ヤードの16番のパー3でティショットをグリーン右へ外した。グリーンからかなり離れたところで見ていたので、アプローチがどのくらいに寄ったのか見定められない。いささか感情移入しすぎたのか、そのパットは外しそうな距離だった。

「外したら勝てないぞ」

そんな予感がした。が、少年は入れた。続く17番でまたピンチが訪れた。ティショットはフェアウェイのセンターをキープした。セカンドショットも好い当たりだった。しかし、グリーン手前の傾斜面に食われて止った。そこからのアプローチが1.5メートルほどオーバーした。

ここまで、寄せなければ、入れなければ、というアプローチやパットがつづき、その都度踏ん張ってきた。が、そのパットは外れた。俄かに嫌なムードが漂い始め、誰かにトータルスコアを確認しないではいられなくなった。亀井通夫競技委員の姿を見つけ、足早に追いかけてたずねる。

「伊藤君、芳賀洋平君、大山和則君が通算8オーバーで並びました」

と言う。芳賀選手はすでにホールアウトしていた。大山選手は伊藤少年と同じ組でプレー中だった。

「どうやら、プレーオフになりそうですね」

と亀井委員は言う。そして、その通りになった。大山選手が先に2パットのバーで取めたあと、少年はまたもや1.5メートルほどの、ゴルフでは最もプレッシャーのかかるといわれる「入れなければ負け」というパットを入れたのだった。

林に入れた者が脱落

プレーオフは1番(513ヤード、パー5)からサド

ンデスで行われた。くじ引き棒を引き合い、少年がオナー。ティショットは右のヘビースラフに消える。2番手は芳賀選手、彼も(関東ジュニア)である。右の林に入れる。最後に大山選手が打ち、ひとりだけフェアウェイをキープする。少年は第2打でフェアウェイの好位置にアイアンで脱出する。芳賀選手は林から横へ出すだけのショットを強いられる。そして彼だけが4オンで、ボギーパットをやらずに脱落し、他の2人が3オン2パットで2番へ進む。

少年はフェアウェイ右のセミラフへティショットを飛ばす。大山選手は右の林へ打ち込む。少年は高い球で2オンする。大山選手は林の中から、グリーンが狙える距離まで脱出するものの、第3打が寄らず、パットも1つでは入らずのボギー。少年は2パットのバー。

「林に入れた者から順々に脱落したな」

ギャラリーが言い合っていた。

飛べ、ペガサスよ

松本競技委員長が言ったように「コンスタントなスコアを並べた者が勝った」のだが、それが15歳の少年であったことは椿事といえるかもしれない。いや、快哉事である。

冒頭にふれたように、選手の低年齢化が進んでいる。因みに各地区の予選を経て、本大会の決勝競技に進出した159名の世代別の分布を事務局に調べてもらった。

10代15名、20代34名、30代34名、40代46名、50代25名、60代5名であった。このうち前半36ホールの予選カットの後、後半戦に進出した者は10代8名(うち高校生4名)、20代21名、30代14名、40代15名、50代7名、そして60代は0名であった。

1938年の第1回大会以来15歳の少年がチャンピオンの座に着いたのはもちろん、初めてである。この最年少チャンピオンの記録がいずれ塗り替えられるのが先か、はたまた最年長チャンピオンが誕生するのが先か。いずれにしても、少壮老が一緒になってチャンピオンシップを競い合うところにゴルフならではの面白味と興味、そして総合力をテストする普遍性があるのだから、今度は「最年



吉田友明関東ゴルフ連盟理事長(右)より楯とレプリカを受ける伊藤選手

長チャンピオン」の味わい深いプレーを是非とも追ってみたいものである。

歴代優勝者の名前が刻まれた優勝楯を抱える少年を雨の上がったテラスに連れだし、写真撮影した後、一問一答した。

—今日、最も勇気が求められた1打は？

「18番の1.5メートルのバットです」

—ドライバーの飛距離はどのくらい？

「260ヤードくらいです」

—得意は？

「アプローチとバットが好きです」

—ゴルフを始めたのはいつの時？

「小学5年生からです。父は野球をやらせたかったらしいんですが、僕は好きになれませんでした」

父親の勝典氏(41歳)の話によると、勇気君の名は野球漫画の主人公に因んで命名したそうで、将来は野球選手にしたかったとか。職業はスポーツウェア製造。この試合は費用節約のためキャンピングカーに父子で寝泊まりして参加したという。

—現在の身長体重は？

「170センチ、55キロです。身長は去年より10センチ伸びて、体重は5キロ増えました」

—最初に参加した大会は？

「小学6年の時にKGAリトルジュニア大会に出て87でした。それから中学2年の時に関東ジュニアに勝ちました。コースはやはりここでしたから武蔵の笹井コースは相性がいいです」

—練習はどのくらいしてるの？

「放課後、部活で毎日300球くらい。プライベートでラウンドするのが月に3回くらいです。1日ラウンドすると1万5千円くらいかかります」

勝典氏の話によると1ヵ月のゴルフ費用は5万円、試合がつづく大変な負担になるという。

—これからの目標は？

「日本アマの決勝(上位32名によるマッチプレー)に残ることです」

そして、もっと先の大きな夢はマスターズに出ることだという。関東アマから世界の檜舞台へ、ベガスが飛び立つ日を期して待ちたい。

平成15年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成15年6月9日(月)～12日(木) ●開催コース 武蔵カントリークラブ・笹井コース 7,001ヤード パー72

エントリー数159名/出場者数155名/欠場者4名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
1	伊藤 勇気	関東ジュニア	71	75	74	76	296
2	芳賀 洋平	関東ジュニア	76	73	75	72	296
2	大山 和則	スプリングス	73	76	72	75	296
4	石井 保行	清 川	72	80	70	75	297
4	佐野健太郎	東北福祉大	74	72	75	76	297
4	宮本 清	小 川	75	73	74	75	297
7	熊谷 淳	水戸グリーン	76	76	78	68	298
8	岡田 社広	豊月・佐野	74	76	75	74	299
8	坂本 聡	日本体育大	74	75	75	75	299
8	川根 隆史	伊香保国際	78	75	72	74	299
11	北田 幸士	関東アマ	76	74	78	72	300
11	松村 道央	鹿沼72	81	70	73	76	300
13	金 浩延	塩 原	73	81	72	75	301
14	藤賀 辰徳	ロイヤルスター	74	77	74	77	302
14	水上 晃男	鶴 舞	73	77	78	74	302
14	木下 裕太	関東ジュニア	77	72	76	77	302
14	堀江 俊平	専 修 大	76	75	77	74	302
14	板井 延秋	新 千 葉	73	74	78	77	302
14	斎藤 恭正	アカデミアス	71	77	73	81	302
20	神戸 誠	太田双葉	74	79	74	76	303
20	谷口 英樹	セバリスデロス	76	75	74	78	303
22	甲斐健太郎	日本体育大	83	70	75	76	304
22	太田 再勇	大 相 模	77	76	75	76	304
22	伊藤 啓二	穂 高	75	76	75	78	304
25	西川 剛	セゴビア	76	79	77	73	305
25	竹原 洋行	東 名	76	78	76	75	305
25	小林 勝美	武 蔵	72	75	77	81	305
25	中島 正春	豊月・佐野	82	69	77	77	305
25	杉山 絵	総 武	79	75	72	79	305
30	亀井 隆	唐 沢	80	76	74	76	306
30	沢田 信弘	東京五日日	74	79	75	78	306
30	和田 博	東京五日日	81	74	72	79	306
30	宮 辰夫	習 志 野	74	77	76	79	306

予選競技メダリスト選手

第1ブロック	森 光弘(葉山国郎)	69ストローク
	岡村 平(レインボー)	〃
第2ブロック	坂本 聡(日本体育大)	69ストローク
第3ブロック	田中 富雄(ロイヤル)	71ストローク
第4ブロック	堀江 隆(カバヤ)	70ストローク
	細野 真一(筑 波)	〃
第5ブロック	木下 裕太(関東ジュニア)	72ストローク
第6ブロック	加部 嗣男(東 名)	70ストローク
	安本 隆介(専 修 大)	〃

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
30	室野 歩	東 千 葉	73	75	77	81	306
[以上日本アマチュアゴルフ選手権競技出場有資格者]							
30	金澤健太郎	鹿沼72	72	79	76	79	306
36	小川 純一	東 名 厚 木	74	78	78	77	307
36	丸山 優介	中 央 大	79	75	78	75	307
38	藤崎 元氣	日 本 大	74	77	79	78	308
38	藤又 崇之	関東ジュニア	75	77	73	83	308
40	船橋 数晃	岡部チサン	80	76	77	76	309
40	有賀 史剛	甘 楽	72	78	78	81	309
40	角田 充弘	富 里	78	76	74	81	309
43	金子 光規	レインボー	77	79	80	74	310
43	館 英樹	富士笠間	78	77	81	74	310
43	早乙女剛史	関東ジュニア	79	76	79	76	310
43	水野 潤一	富士平原	73	80	75	82	310
47	渡辺 泰三	バ 協	80	76	79	76	311
47	山田真一郎	専 修 大	73	76	79	83	311
47	佐瀬直一郎	喜 連 川	81	74	71	85	311
47	西村 和也	専 修 大	78	78	75	80	311
51	館 満 圭	千 葉	77	77	83	75	312
51	志村 幹夫	日 立	76	78	78	80	312
53	岩井 正一	習 志 野	75	81	78	79	313
54	佐瀬直一郎	喜 連 川	77	75	78	84	314
55	中川 雅義	沼 津	80	75	81	79	315
55	宮崎 隆司	三島スプリングス	77	76	76	86	315
57	富田 文雄	茨 城	80	75	82	79	316
57	川崎 巨樹	水戸グリーン	77	78	77	84	316
59	設楽 守廣	赤 城 国 際	80	75	84	78	317
60	宮本 博幸	大熱海国際	78	77	82	81	318
60	西野 伸幸	美 里	80	76	80	82	318
62	名取 和光	タイフアンテッジ	79	77	78	85	319
63	松下 定弘	セバリスデロス	74	80	80	89	323
棄権	和田 雅英	東京五日日	73	78	77		
棄権	上島 英信	ニッソー	77	77	79		

特別表彰

決勝競技

(20回出場表彰) 室野 歩(東 千 葉)

和田 雅英(東京五日日)

(15回出場表彰) 石井 保行(清 川)

藤崎 和典(富士笠間)

宮本 清(小 川)

(10回出場表彰) 吹野 結一(都 賀)



みんなで勝ち取った念願の初優勝

勝利の原動力となったチーム・ワーク

文・塩田 正 (KGA広報委員)

写真・伊室一義 (KGA広報副委員長)、舟橋一芳、塚越克一、増田 収 (KGA広報委員)

「予選を通るのが目的だったんですが、激戦の千葉第2地区で思いがけなく優勝できたのが自信につながりました」

こう語るのは、優勝した東千葉カントリー倶楽部の大蔵満彦キャプテン (同倶楽部競技委員長) だ。

東千葉が関東倶楽部対抗で、最高位を占めたのは、平成10年 (開催倶楽部東千葉) の2位だが、当時は無名で周囲のチームからは「奇跡の2位」といわれたほどだった。

その後、大蔵キャプテンがいうように「予選さえ通れば」とトーン・ダウンして今年を迎えたのだが、今年は奇跡どころか堂々の優勝を飾って実力のほどを見せた。何しろ2位の武蔵カントリークラブ (埼玉) を6ストロークも離す圧倒的な優勝だったのである。Aクラス、Bクラス6人の平均ストロークが74.33であるが、A・Bのパー合計が異な

るため、1人当たり2.8オーバーという立派な成績を残しての優勝であった。

このダントツ優勝について、前記大蔵キャプテンは、開口一番「チーム・ワークの勝利」といい放った。

もちろんゴルフは個人競技で、サッカーのようにチーム同士の戦いではない。しかし、今回、この決勝競技に駒を進めた各チームのキャプテンや選手たちは、決勝競技に進出できた理由を前記大蔵キャプテン同様「チーム・ワークのよさ」を強調している。

大蔵キャプテンが優勝の第一の理由に挙げ、ほかのチームのだれもが口にするチーム・ワークとは、いったいどんな内容をもっているものなのだろうか。

チーム・ワークの実態とは何か。この問いに前

念願の初優勝を喜ぶ東千葉チーム



記優勝した東千葉CCチームの大蔵キャプテンは、つぎのように答える。

「1人が叫びてしまったら、そのぶんみんながカバーしようよ——これがわがチームの合言葉です。選手全員が揃ってうまくいくことはないんですから、気楽にいこうよという考え方です。この基本方針が身につけているのか、プレーしていてもみんな伸び伸びとやっているんです。今回、よい成績で優勝できたのもそのせいです」

と、チーム・ワークの本質は「1人がダメでも、そのぶんみんなで・・・」という補い合う気持ちを中心にしてつくり上げてきたという。それが今大会で実を結び、豊島 豊選手 (Bクラス・メダリスト) の69を筆頭に、1人平均2.8オーバーという信じられないような好スコアにつながったというのである。

また平成11年に決勝進出20回以上で表彰され、優勝も8回を数えるという千葉カントリークラブの矢部一憲氏は、

「うちはただスコアだけで選手選考はしないことにしています。ゴルファーである前に立派な社会人であることを前提にしているからです。人柄が大切です。伝統ある千葉CCの選手として恥ずかしくない人、対外的にも対内的にも応援を受ける選手——最終的にそんな人を選ぶようにしています」

と、はじめからチーム内の雰囲気や士気を乱すような人は選手として加えないことを条件にしている。

「まあ伝統がこうしたチーム・カラーを育ててくれたと思うんですが・・・」

と、これまでの堅実なチーム・カラーを継承してきたことを強調する。もちろんそんな雰囲気の中からはチーム・ワークが破綻するはずがない。ことしも千葉カントリークラブは、チーム一丸のスローガンのもと、堂々6位に入賞している。

こうみえてくると、チーム・ワークの本質が、やはり人間そのものの姿にあることがほのかに浮かび上がってくる。東千葉CCのように「みんなで不調な人のぶんを補う」方式も、千葉CCのように「人柄重視」も、つきつめていくと、人間の“心”に突き当たる。この点、元東京ゴルフ専門学校主任教授の小林正義氏 (東京五日市CC) は「ゴルフは個人競技ですが、やはりどんな状況でも決してゲームを投げないということ。それから練習のときから、きのうの敵はきょうの友ではないが、お互いに励まし合うこと。自分さえよければという考えでは勝てない」

と、具体的にチーム・ワークを構成する原点をこう説明する。また関東ゴルフ連盟競技委員長松本富夫氏も「サッカーのようにフォーメーションを組むようなスポーツではないので、各自が試合を捨てずにやり抜くこと。それとそれをまとめる

大勢のギャラリーに囲まれ、雨中の熱戦



初参加で決勝に進出した異色倶楽部、ブリック アンド ウッドクラブ



坂 征郎副理事長

ことし初めて予選に参加したチームが、難関の関東倶楽部対抗に出場を果たした。そのチームは激戦の千葉第1地区を4位で通過したブリック アンド ウッドクラブである。

初参加で予選通過というのは珍しいが、その突破力となったのはどうやらコースの難かしさにあるらしい。設計はデズモンド・ミューヘッド氏だが、副理事長の坂 征郎氏によると、

「とにかくコースが難かしいんです。攻めるのはドライバーでもアイアンでもピン・ポイントの小さなエリアしかないんです。だからうちの選手は“いつもプレッシャーを感じてプレーしている”メンタル面でも鍛えられています。それが初出場、初決勝という快挙につながったのではないのでしょうか」

とコースの難度の高さが選手を育てたと強調する。それとチーム・ワークのよさも特筆される。そのポイントとなっているのはマイカーによる相乗り制度だ。例えば東京のベイ・エリア地区、横浜地区、城南地区、城西地区とエリアが決まっていて、その地区からコースへ来る場合は、示し合わせて会員、選手たちがお互



テント内のブリック アンド ウッドクラブの応援団

いに車の相乗りをしているというのがそれ。選手たちもほとんど相乗りを励行しているので、選手同士の気持ちは100%「ツー・カー」だという。

プレー後の倶楽部内での雑談も時間無制限で、土・日曜日など夜の10時、11時まで選手や会員同士で話はずむことも珍しくないといわれている。

こんな雰囲気はチーム・ワークを盛り上げ、今回の快挙につながったというわけである。ちなみにブリックとは、煉瓦の意味で、みんなで煉瓦を積み上げて塀を作り、木の温もりにひたろうとことで、転じて豪華ではないが温みのある家という意味だそうである。

この大会では、こんな異色チームが一つ増え、これから常連になろうとしている。

(取材/山田和臣=KGA広報委員)

主将の手腕がチームの中で渾然一体となった状態、それがよいチーム・ワークといえるのではないのでしょうか」

とくに現在の倶楽部対抗が6人全員のスコアの合計で勝負を決する方式では、試合を投げるような選手が一人でもいては、とても栄冠には結びつかない。どんな逆境でも最後までベストを尽くす—そんな意識をもつ選手集団が固いチーム・ワークをもったチームということができそうである。そしてことしの東千葉CCがその好例といえることができる。

●研修会のない倶楽部からの進出

倶楽部対抗の選手選考といえば、ほとんどの倶楽部は、研修会が母体になっているはずだが、こ

んど28年ぶりに“実力”で決勝競技に駒を進めた茨城ゴルフ倶楽部は、研修会が存在せず、公式競技の成績によって選抜された選手だけで構成されている。ここで“実力”と断っているのは、実は77、'86と昨年の関東大会の舞台が茨城GCで、このとき茨城GCチームは、開催コースのチームとして予選無しで出場しているからである。

なぜ茨城GCには研修会がないのか。こんな素朴な疑問が湧くが、実はオープン当初は、ほかの倶楽部同様、研修会が発足したのだが、研修会内に派閥問題が起き、解散を余儀なくされたのだという。そしてそのあともずっと研修会はなく、現在に至っている。

で、選手選考は公式競技10試合（10ラウンド）でA・Bそれぞれ上位4名を選出するやり方をとって



応援の熱気が伝わってくるテントの内部

いる。もちろん今回の出場も、そういった選考を経た選手団で臨んだ。

選手選考としては、非常にシンプルな方法だが、このほうがかえっていいのだという考えもある。「うちは最近、ほかの倶楽部同様、会員権価格が下がったり、高齢化が進んで名義書替が活発になったりで、若い人が増えてきております。そういう若い人が公式競技でよい成績を上げれば、文句なしに選手に選ばれます。研修会がなくても競争は結構激しいんです。そんな活気がことし茨城第2地区の予選突破に成功したと思っています」

こう語るのは、決勝競技の応援にやってきていた瀬戸島四郎元支配人である。

倶楽部内に研修会がなく決勝競技に出場できたのは、恐らく茨城GCだけと思われるが、公式競技を母体にしての選手選考だけに一般会員とのつながりも強い。会員としても「われらが代表」を身近に感じるに違いないからだ。

「うちは2年前まで「キリン・カップ」というプロ・ツアーを開催していましたが、それがなくなり、会員もがっかりしていたと思うんです。しかし、今回、自分たちの代表選手が関東倶楽部対抗に出場したということで、また活気が出てきたんじゃないでしょうか」

前記、瀬戸島元支配人は、研修会育ちではない選手団の出場が、倶楽部の活性化に一役買っていることをこんなふうに語る。こうして茨城GCは新しい形の選手選考で関東大会まで進出してきたのだが、ボス的存在の人がいないぶんだけ若い人たちのやる気も燃え上がってくるはず。異色のチームとして注目しておきたいものだ。

◆ A・Bメダリストの言葉 ◆

役に立った豊富な練習量



Aクラス/桜井延秋(新千葉) 70ストローク
アイアンで快調にバー・オンができ、確実にバー奪取できたのが大きいと思っています。とくにアウトでは、2バーディ、1

ボギーであることができ、午後の余裕につながりました。

いま振り返ってみると、関東アマチュア選手権(14位)があり、それに向けて練習量を豊富にしたのが、この好成績に結びついたと思っています。

このメダリストを機にさらに技術を研いて、これからの競技にも頑張りたいと思っています。

ボギー1コのステディなプレー



Bクラス/豊島 豊(東千葉) 69ストローク
1ラウンドを通じてボギーは10番ホールだけという思いがけなくステディなプレーができました。ボギーが少なかったの

は、アプローチがピタッと寄ったり、長いパットがはいったりで、危いバーを拾うことができたからです。そのほか、ロング・ホールで2オンに成功したり、ショート・ホールでベタビンのバーディをとったりという幸運もありました。

とにかくこんな大きな大会でメダリストになったのはほんとうに嬉しい。来年もまた代表選手になれるように精進したいと思っています。

スタートからバーディのラッシュ



Bクラス/伊藤和久(新千葉) 69ストローク
スタートの10番ホールから15番ホールまで、6ホールで、4つのバーディがきて、プレーを有利に進めることができました。

ことしになって、ショットがよくなっていたのは事実ですが、このスタートはちょっと出来すぎといった感じです。

好スコアのもとになったのはアイアンがよく決まっていたから。バー・オンの数も多く、その中のいくつかはピンにピタッと寄っていました。

18ホール・ストロークプレー（参加327倶楽部）

茨城第2 常陽 5月19日(月)		埼玉 鴻巣 5月19日(月)		千葉第1 中山 5月20日(火)		千葉第2 白鳳 5月19日(月)		東京 武蔵野 5月23日(金)		神奈川 大相模 5月19日(月)		静岡 天城につかつ 5月21日(水)	
各3名、計6名合計		各3名、計6名合計		各3名、計6名合計		各3名、計6名合計		各3名、計6名合計		各3名、上位5名合計		各3名、計6名合計	
ニッソー	457	武蔵	448	習志野	448	東千葉	461	東京五日市	453	東名厚木	377	リバー富士	454
セベ/ルステロス	457	鴻巣	455	千葉	454	総武	474	武蔵野	459	大相模	379	大熱海国際	464
茨城	463	寄居	462	袖ヶ浦	458	新千葉	474	GMG八王子	460	相模原	385	豊岡国際	469
茨城バシフィック	467	嵐山	463	プリクアボウガ※	458	千葉スプリングス	478	立川国際	460	秦野	391	富士箱根	475
大洗	470	霞ヶ関	464	中山	466	鶴舞	481	青梅	466	大秦野	392	富士御殿場	475
フレンドシップ	471	廣済堂埼玉	464	我孫子	468	姉ヶ崎	481	八王子	466	相模湖	393	三島スプリングス	485
スプリングファルズ	473	日高	466	房総	470	真名	495	東京国際	467	伊勢原	393	富士小山	488
セントラル	476	岡部チサン	467	佐原スプリングス	472	レインボーヘルズ	500	府中	469	戸塚	394	伊東C C	488
常陽	476	小川	468	千葉国際	473	本千葉	500	多摩	473	小田原・松田	395	函南	489
金砂郷	476	浦和	468	ロイヤルスター※	473	平川	501	桜ヶ丘	474	清川	397	愛鷹	490
ノースジョ北浦	484	鳩山	468	藤ヶ谷	473	千葉新日本	502	東京よみうり	482	津久井湖	397	富士	492
筑波学園	485	埼玉国際	469	ザ・鹿野山	473	万木城※	502	小金井	494	大厚木	397	天城につかつ	493
新水戸	485	飯能	470	鷹台	474	一の宮	503	赤羽	520	レインボー	400	御殿場	494
那珂	488	狭山	471	富里	475	成田スプリングス	504	相模武	失格	相模	401	東名	495
霞ヶ浦出島	489	東松山	476	小御門	479	ハ幡	505			横浜	404	朝霞ジャンボリー	500
霞台	493	高坂	476	長太郎	481	大利根チサン※	508			磯子	408	伊豆スカイライン	失格
浅見	496	飯能グリーン	477	勝浦	482	船橋	511			相模野	410	富士チサン	失格
取手国際	497	ノーザン錦ヶ原	478	東京湾スプリングス	483	上総富士	512			小田原湯本	412		
日立	499	東京	480	鎌ヶ谷	483	オーク・ヒルズ	515			葉山国際	412		
玉造	500	武蔵松山	480	木更津	485	京葉	517			東京C C	414		
麻生	502	熊谷	481	長南	486	千葉廣済堂	518			中津川	414		
ザ・ウイングス	514	入間	484	南総	486	成田C C	519			美善	416		
		ユニオンエース	485	カレドニアン	486	白鳳	519			箱根	425		
		高根	487	茂原	488	エンゼル	523			湯河原	429		
		美里	487	加茂	489	かずさ	526						
		埼玉	490	鴨川	496	鳳琳	529						
		秩父国際	493	南千葉	497	紫	532						
		川越	495	トーヨー	502	源氏山	567						
		越生	500	房州	502								
寺田素夫 (セベ/ルステロス) 富田文雄 (茨城) 中嶋勝雄 (ニッソー)	75	諸戸精孝 (霞ヶ関)	72	松尾淳一郎 (藤ヶ谷)	70	佐々木 徹 (真名)	73	安藤謙治 (八王子)	72	小宮康彦 (相模湖)	70	扇 徳男 (富士箱根)	72
寺田 智 (ニッソー)	71	浅川辰彦 (武蔵)	70	阪田哲男 (袖ヶ浦)	68	室野 歩 (東千葉)	71	和田 博 (東京五日市)	70	石井 保行 (清川)	69	宮本博幸 (大熱海国際)	70

— 11 —

平成15年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

●開催日6月23日(月) 開催コース 平塚富士見カントリークラブ

Aクラス 大磯コース 6,512ヤード パー71

Bクラス 平塚コース 6,530ヤード パー72

優勝 東千葉カントリー倶楽部 スコア合計446

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 坂田 功 弘	78	40	38
山田 金 子	72	35	37
金 子 航 二	79	38	41
Bクラス 豊島 好 貴	69	34	35
三 橋 文 歩	78	40	36
室 野 浩 二	72	36	36

(チーム平均ストローク=74.33)

2位 武蔵カントリークラブ スコア合計452

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 望月 功 一	76	38	38
山本 現 朗	76	37	39
森 永 正 隆	75	36	39
Bクラス 宮坂 文 一	73	37	36
小林 勝 美	76	36	40
浅 川 勝 三	76	39	37

(チーム平均ストローク=75.33)

3位 総武カントリークラブ スコア合計454

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 白 井 敏 夫	74	35	39
中 川 貞 宣	83	39	44
中 川 利 夫	78	37	41
Bクラス 杉山 重 修	71	36	35
小 林 勝 彦	73	35	38
高 橋 一 博	75	39	36

(チーム平均ストローク=76.67)

4位 新千葉カントリー倶楽部 スコア合計455

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 土 屋 貞 雄	81	42	39
山 井 隆 夫	78	40	38
大 塚 正 隆	70	34	36
Bクラス 白 井 正 衛	80	40	40
浅 井 一 夫	77	40	37
伊 藤 和 久	69	36	33

(チーム平均ストローク=77.83)

5位 大相模カントリークラブ スコア合計457

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 市 川 二 郎	82	39	43
増 田 正 人	80	43	37
中 原 正 人	71	35	36
Bクラス 大 塚 邦 夫	72	39	33
太 田 再 男	71	36	35
宮 下 小 林	81	45	36

(チーム平均ストローク=76.17)

6位 千葉カントリークラブ スコア合計458

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 伊 東 祐 次	77	40	37
新 村 佳 朗	78	39	39
新 村 ヨシオ	72	36	36
Bクラス 飯 塚 守 守	79	40	39
浜 島 佳 夫	78	42	36
飯 塚 圭 圭	74	39	35

(チーム平均ストローク=76.33)

7位 長野カントリークラブ スコア合計459

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 宮 澤 亮 三	78	38	40
吉 沢 実 護	76	37	39
黒 岩 正 隆	77	39	38
Bクラス 伊 藤 雅 章	77	38	39
松 山 隆 夫	80	39	41
広 田 文 雄	71	34	37

(チーム平均ストローク=76.50)

8位 東京五都市カントリー倶楽部 スコア合計461

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 久 田 男 夫	75	36	39
吉 田 敏 夫	82	42	40
小 林 正 隆	82	42	40
Bクラス 沢 田 信 弘	70	36	34
和 田 雅 博	72	39	33
和 田 雅 博	80	43	37

(チーム平均ストローク=76.83)

9位 袖ヶ浦カントリークラブ スコア合計461

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 林 安 雄	78	39	39
山 田 敏 夫	78	35	43
仲 松 政 美	75	35	40
Bクラス 飯 田 哲 男	73	36	37
柳 澤 信 三	79	36	43
布 部 敏 夫	78	39	39

(チーム平均ストローク=76.83)

10位 水戸・ゴルフ・クラブ スコア合計462

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 中 村 清 夫	73	33	40
根 本 太 夫	73	36	37
小 野 太 夫	77	39	38
Bクラス 入 野 康 昭	84	43	41
平 澤 良 雄	80	40	40
深 作 泰 司	75	37	38

(チーム平均ストローク=77.00)

11位 茨城ゴルフ倶楽部 スコア合計463

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 幸 山 義 基	80	42	38
野 口 敏 雄	75	38	37
富 田 文 雄	76	36	40
Bクラス 相 馬 聡 夫	77	41	36
根 津 訓 光	76	40	36
根 津 訓 光	78	38	40

(チーム平均ストローク=77.00)

12位 相模原ゴルフクラブ スコア合計463

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 伊 藤 仁 仁	73	37	36
今 井 喜 平	79	37	42
河 本 徳 三郎	74	36	38
Bクラス 白 井 旭 旭	82	39	43
中 村 敏 彦	77	38	39
堀 越 栄 治郎	78	38	40

(チーム平均ストローク=77.17)

13位 リバー富士カントリークラブ スコア合計464

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 水 野 裕 司	75	36	39
板 倉 重 男	83	38	45
大 村 正 隆	78	40	38
Bクラス 安 達 光 宣	74	36	38
渡 邊 貞 男	73	35	38
小 林 一 三	81	41	40

(チーム平均ストローク=77.33)

14位 芳賀カントリークラブ スコア合計465

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 関 口 幸 雄	74	37	37
高 松 英 明	74	37	37
菅 谷 邦 正	78	39	39
Bクラス 山 内 武 博	81	43	38
相 田 善 久夫	76	39	37
望 月 孝 廣	82	40	42

(チーム平均ストローク=77.50)

15位 ニッソーカントリークラブ スコア合計466

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 中 嶋 勝 雄	82	41	41
北 村 正 治	80	39	41
宮 本 正 隆	76	37	39
Bクラス 寺 田 智 智	79	39	40
上 島 英 信	73	38	35
海老原 克 守	76	38	38

(チーム平均ストローク=77.67)

16位 千葉スプリングカントリー倶楽部 スコア合計467

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 安 井 勤 一	76	38	38
緒 松 正 隆	81	38	43
松 井 康 夫	76	39	37
Bクラス 江 川 健 一	80	41	39
公 原 一 夫	80	39	41
石 井 幹 一	74	39	35

(チーム平均ストローク=77.83)

17位 太田双葉カントリークラブ スコア合計468

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 長谷川 弘 志	79	37	42
山 田 敏 夫	73	34	39
高 山 恵 正	81	38	43
Bクラス 市 川 章 好	80	38	42
市 村 一 男	76	40	36
金 井 正 善	79	44	35

(チーム平均ストローク=78.00)

18位 赤城国際カントリークラブ スコア合計468

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 吉 田 隆 光	71	35	36
寺 田 清 一	77	40	37
浅 野 幹 雄	82	38	44
Bクラス 武 井 茂 幸	76	37	39
小 林 博 行	80	41	39
小 説 孝 司	82	42	40

(チーム平均ストローク=78.00)

19位 甲府国際カントリークラブ スコア合計468

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 堀 野 久 義	74	36	38
岩 澤 肇 一	73	33	40
野 田 文 雄	83	43	40
Bクラス 冬 頭 克 宣	77	39	38
佐 藤 寛 内	82	41	41
五 味 俊 彦	79	40	39

(チーム平均ストローク=78.00)

20位 那須小川ゴルフクラブ スコア合計468

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 近 藤 一 之	80	38	42
橋 本 義 男	76	36	40
加 藤 昭 一	74	36	38
Bクラス 齊 藤 修 一	78	35	43
角 田 安 朗	77	39	40
角 田 浩 二	80	38	42

(チーム平均ストローク=78.00)

21位 鹿沼72カントリークラブ スコア合計470

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 石 川 新 一	79	39	40
大 塚 英 雄	82	42	42
大 塚 光 幸	79	40	39
Bクラス 宮 川 一 男	70	33	37
小 木 久 久	80	34	46
小 藤 倫 康	78	38	40

(チーム平均ストローク=78.33)

22位 セパ/バレスティンズゴルフクラブ スコア合計470

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 澤 田 富 夫	73	36	37
寺 田 孝 夫	84	43	41
橋 本 康 夫	85	43	42
Bクラス 石 川 定 男	80	40	40
小 川 英 樹	72	32	40
小 川 康 夫	76	39	37

(チーム平均ストローク=78.33)

23位 鴻巣カントリークラブ スコア合計473

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 三 嶋 風 紀	76	42	34
湯 田 勝 雄	79	42	37
佐 久 間 博	76	37	39
Bクラス 山 内 善 正	75	40	35
荒 井 貞 雄	79	39	40
原 一 雄	85	40	45

(チーム平均ストローク=78.33)

24位 東名厚木カントリー倶楽部 スコア合計471

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 中 村 龍 夫	83	41	42
大 野 忠 夫	78	39	39
榎 本 孝 夫	84	42	42
Bクラス 田 代 猛 一	74	36	38
藤 木 孝 夫	76	39	37
松 田 永 夫	76	39	37

(チーム平均ストローク=78.50)

Aクラス メダリスト

坂井 延秋/新千葉カントリー倶楽部 70(34・36)

Bクラス メダリスト

豊島 豊/東千葉カントリー倶楽部 69(34・35)

伊藤 和久/新千葉カントリー倶楽部 69(36・33)

25位 大熱海国際ゴルフクラブ スコア合計473

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 金 谷 基 吉	79	39	40
下山 忠 男	82	36	46
小 坂 忠 男	80	43	37
Bクラス 井 端 和 生	74	37	37
宮 本 博 秀	76	38	38
手 塚 博 秀	82	40	42

(チーム平均ストローク=78.83)

26位 扶桑カントリー倶楽部 スコア合計475

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 石 田 俊 男	83	38	45
寺 田 清 一	87	43	44
野 村 剛 弘	74	36	38
Bクラス 染 谷 健 市	74	38	36
斎 藤 太 洋	75	37	38
日 暮 俊 明	82	42	40

(チーム平均ストローク=79.17)

27位 ファイブエイトゴルフクラブ スコア合計476

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 村 岡 隆 夫	84	41	43
伊 藤 邦 和	80	40	40
伊 藤 安 雄	83	41	42
Bクラス 小 森 忠 士	75	37	38
日 向 和 弘	80	38	42
日 向 和 弘	74	38	36

(チーム平均ストローク=79.33)

28位 フォレストゴルフクラブ スコア合計477

氏名	合計	アウト	イン
Aクラス 小 林 智 一	84	41	43
白 根 幸 雄	75	38	37
長谷川 正 二	81	38	43
Bクラス 高 橋 正 秋	84	39	45
石 井 清 史	80	40	40
松 本 重 光	73	36	37

(チーム平均ストローク=79.50)

29位 松本カントリークラブ スコア合計477

	氏 名		合計	アウト	イン
Aクラス	大 野	弘 治	77	40	37
	柴 田	謙 彰	85	40	45
	竹 田	治 男	78	37	41
Bクラス	伊 藤	謙 二	81	37	44
	須 山	朝 雄	80	41	39
	米 食	治 浩	76	40	36

3人プレーオフの大熱戦

勝利の女神を引き寄せた
小山のスーパーショット

文・伊室一義 (KGA広報副委員長) 写真・塚越克一、増田 収 (KGA広報委員)

第49回関東女子ゴルフ選手権決勝競技は、横浜市内の名門磯子カンツリークラブにおいて、予選を通過した120名とシード選手19名（欠場8名）の選手が参加して盛大に開催された。初日はあいにく五月雨のプレーとなったが、第2日目は曇天無風の好コンディションに恵まれ、3名がプレーオフにもつれ込む大熱戦となった。

住宅街のど真ん中にどうしてこんなゴルフ場があるの？と不思議に思うが、根岸線の敷設計画が具体化するその前に、先見の明ある横浜の植物貿易商鈴木藤氏が発案、昭和35年、当時では珍しい預託金会員制度でこのゴルフ場は建設された。先祖伝来の土地売却を拒む地主が多く、土地買収は難航、また大型土木機械が使えない時代だったこともあり、トリッキーなホールが多く、開場当初の評判はあまり良くなかった。

発起人に名を連ねていた程ヶ谷CCや相模CCの会員達は、戦前の名門ゴルフ場と比べ、「あれもダメ、これもダメ」と厳しい注文を浴びせかけた。ゴルフをよく知らなかった発起人の鈴木藤氏は、

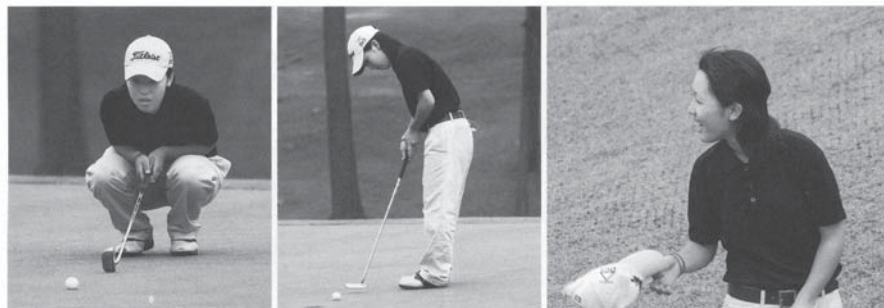


同世代の選手から祝福を受ける小山選手（左端）



優勝の喜びをVサインで示す小山選手

これら会員の意見によく耳を傾けてコースを改良し、植栽にも精を出した。食堂委員会で獅子文六委員が「横浜なのだからメインは中華にすべし」と主張され「では横浜の中華街よりも美味しい料理を…」との要望も出て、腕利きのコックが揃えられた。逆説的な言い方だが、ゴルフに関しては素人であったからこそ成功した、という面も否定出来ない。心労が重なり、鈴木藤氏は惜しくも昭和39年に亡くなられたが、発起人の遺志を継承した運営後継者は、三好徳行氏の助言なども得て、15年間に及ぶ改造に継ぐ改造の末、今日の名門コースが完成されたのだった。なおその後グリーン及び一部ホールは、名匠井上誠一氏の直弟子大久保晶氏によって改修され、距離はやや短いものの、興趣をそそるアンジュレーションと砲台グリーンと共に極めて戦略性の高いコースの諸条件を整えて、伝統ある関東女子の挑戦を迎えたのである。



18番グリーン。バーディ・チャンスを必死に狙い見事カップインし、ギャラリーの拍手に応える小山選手。

【年齢差51歳の激闘】

女性の年齢を口にするのは憚られるが、ゴルフの誼に免じてお許し頂きたい。本大会の最高齢は64歳、最年少は13歳の中学生、その差は51歳である。初日の組み合わせは公平を期するためコンピューターに編成させるが、何とこの日は最高齢者と最年少が同じ組になったのである。三世代一絡の微笑ましいこのパーティ、和やかな雰囲気の中にも真剣勝負が展開され、最年少者は79、最高齢者は84ストロークで上がってきた。年齢差なんか関係なく対等に渡り合えるのがゴルフの楽しいところ、この日また一つかけ替えのないゴルフの魅力を発見した思いであった。

関東女子の草創期は小坂旦子さんと外山雅代さんから社会人が上位を占めていたが、昭和42年の第13回決勝競技あたりから学生が台頭し、徐々に優勝をさらうようになった。しかし、今日では社会人対学生というよりは、ベテランとジュニアの戦いの場となっている。本決勝競技参加者131名中昨年に引き続き参加している選手は72名、この中には常連熟年組が腕を磨いて本決勝競技に備えている。そして若手には中学生も台頭し、学生層もかなり厚味を増してきている。

【3打差以内に11名がひしめく初日】

磯子CCはこの日に備えてグリーンを作り上げてきた。門坂キーパーは昨年の小金井CCも見学し、種々研究を重ねて、グリーンをスピードを11フィ

ートに設定していた。しかし、そは降る小雨のため、そのスピードが出ていたかどうか定かではない。「曲がりそうで曲がらず、曲がらなそう曲がる」のが大久保晶氏の設計思想であるが、雨のため、その意図は充分発揮されたかどうか…。

初日が終わってトップはイーブンパーの3名、2打差の75が3名、3打差の76が5名となり、3打差以内に11名がひしめく大接戦となった。昨年優勝の鈴木麻美選手は81、準優勝の下川めぐみ選手は80。優勝者の映像を捉えておかねばならないカメラマンは、誰を追いかけたらよいか迷っていた。

第2日目の5月20日は低気圧が関東地方を通過して、局地的に大雨を降らせる不安定な天候。しかし幸いにも18ホールの競技中は磯子CCに雨は降らなかった。雨がなければグリーンはキーパーの設定したスピードになる。選手は微妙なラインに悩まされ、あまりスコアは伸びなかった。最終組が17番のティグラウンドに立った段階で、1オーバーが3名との情報が入った。最終組の一つ前を回っていた藤田幸希選手（パークレイ）が18番を手堅く攻め、1オーバーをキープしてホールアウト。最終組の小山恵利子選手（関東ジュニア）は17番（521ヤード、パー5）で勝負に出た。2オン狙いの豪打？を放ったが右に逸れ距離のあるバンカー、この処理に失敗してボギー。ここをバーに収めた若林舞子選手（関東ジュニア）にもリードされ、優勝は藤田、若林両選手に絞られたかに見えた。

しかし小山選手は18番370ヤード（パー4）で必死に追いかけた。ゴルフでは「失敗は次の失敗の



競技委員の指示を聞く左から若林、藤田、小山の3選手



3人のプレーオフに応援にも熱はいる

引き金になる」ことが多い。しかし小山選手はその悪循環を絶った。ややフォローの風ながら280ヤードのビッグドライブ、左下がりの難しいライから果敢に砲台グリーンを攻め、ピン横1メートルのバーディをもぎ取り、プレーオフに仲間入りした。思わず拳がった「やった！やった！」の歓声が印象的だった。同組のベテラン南雲真理選手（岡部チサン）は3オーバーの第4位、渡辺恵子選手（高根）は4オーバーの第5位タイであった。

Ⅰ プレーオフで決着

関東女子の歴史の中でプレーオフは1984年の一度だけ。桜ヶ丘CCで渡辺恵子選手（高根）と中島恵利華選手（矢板）によって争われ、渡辺選手が栄冠に輝いている。今回のプレーオフは2度目、もちろん3人のプレーオフは史上初めてである。

プレーオフに残った3名はいずれ菖蒲か杜若、それぞれ個性が違っている。藤田選手は「写真に弱いんです」と遠くのカメラマンも気になる神経の細かいタイプ。若林選手はボーイッシュな感じで淡々とプレーするタイプ。小山選手は小柄ながら陽気な近代娘。何れも中学3年～高校3年生である。

プレーオフが始まる頃にはにわか暗雲が立ち込め、これから始まるサドンデスの死闘を予兆するかの如く、鶴や鳥はねぐらへと急いだ。

プレーオフの1番は348ヤード、緩い左ドッグレッグで3者ともパー。2番で藤田選手がグリーンを外し寄らずにボギーで脱落。いよいよ決戦は3番ホールに持ち込まれた。このとき驟雨が来

た。3番は479ヤードで大きく右に曲がるパー5。両者のドライバーはともにグッドショットで応援団から「カッコイイ」の声が挙がった。第2打小山選手が先に打って高い林越えに成功、グリーンまで140ヤードの浅い左ラフに入る。若林選手は林の低いところを越え、グリーンまで180ヤードのフェアウェーに球を運んだ。若林選手の第3打は砲台グリーンを見事に捉えて7～8メートルにスリーオン。小山選手の正面には深いバンカーが待ち受け、ピンはその直ぐ後ろ。衆目は小山選手の球に集中した。このとき小山選手は臆することなく高い球でバンカーを越え、ピン横1メートルに絡むスーパーショット。遂に勝利の女神を引き寄せた。最後のバットを決めたとき「やった！」「嬉しい！」の叫び声が磯子の森に明るくこだましていた。ホッと我に返ったら雨は止んでいた。爽やかな決着だった。

「思えば遠くへ来たもんだ」。帰るのは大変だと振り返ったとき、何と応援団全員を乗せる乗用カートが迎えにきてくれている。これは嬉しかった。

Ⅱ 和気あいあいの懇親会

16時45分から表彰式と懇親会。松本競技委員長が順調な競技進行に対し関係者へ謝意を表し、選手には①ブレザーなしでクラブハウスに入るのは失礼である。②スニーカーでパーティに出るのはやめて欲しい。③シャツはキチンとパンツの中に入れてプレーするように、など辛口の講評があり、

吉田理事長から「ご馳走の前の挨拶は短い方がよい」と前置きしながらも、選手に寄せる期待から①ベテラン社会人と若い人々との違いを分析、若い人は先輩から多くのことを学んで欲しいと要望。②技術力のみならずマナー、エチケットを通じてゴルフの本質を受け継いで欲しい。③関東ゴルフ連盟はゴルフの振興を目指して尽力しているが、アマチュアゴルフは皆さんのやる気次第で発展するので是非協力して欲しい、など熱っぽく語りかけられた。次いで磯子CCを代表して山口治良常務理事からご挨拶。①昭和47年磯子CCの関東プロ選手権で青木功選手がデビュー直後の尾崎将司選手とサドンデスのプレーオフ、17番のイーグルで尾崎を制し、青木自身の大きな転換期となった。②福岡見子選手は幼い頃からこの磯子CCで育てて世界へ飛び立った。など興味深いエピソードを披露された。

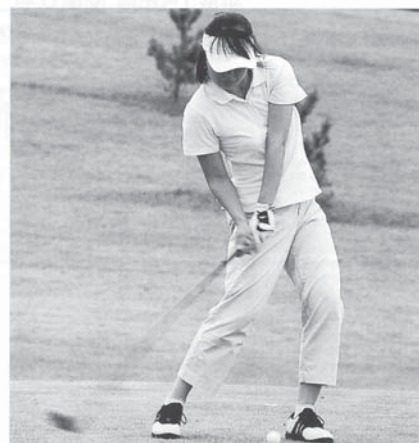
倶楽部側心づくしの中華料理が大変好評で、参加者大満足であったことを付記しておく。

Ⅲ 今後が楽しみな女子ゴルファー

JGAやKGAが取り組んでいるジュニア育成の目的は、ゴルフの天才を発掘したり育てたりすることではなく、ゴルフの真の楽しさを多くのジュニアに体得して貰い、後に続くゴルファーを1人でも多く増やすことにある。今日までの成果は必ずし



バランスのとれた若林選手のティショット



力強い藤田選手のインパクト

も際立って眼には見えないが、それでも着実にゴルフ愛好ジュニアが増加していることは確かである。その厚い層の中から、今大会で活躍したような傑出した選手が自然に出てくるのは間違いないところだろう。

関東女子選手権出場選手のスイングを見ていると、多くの経験を積んだベテランの打ち方是一人一人に特徴があり、どちらかと言えば変形？（失礼）と思える選手が多い。それに比べ今回の大会で上位30位以内にランクされ、日本女子アマチュアゴルフ選手権への出場権を得たジュニアの写真眺めると、まるで同一人の連続写真のようにスイングがよく似ている。

優勝した小山恵利子選手にインタビューしたところ、①武蔵野高校の2年生です。②毎日の練習を欠かさない。③勿論プロに習っています、という返事が返ってきた。幼い頃から正しい基礎を教わり、毎日のようにプロにチェックして貰えば、綺麗なフォームが自然に身に付くのだろう。我々の時代とは雲泥の差だと羨ましくなり「これから一生懸命やって下さい」と付け加えてインタビューを終えることにした。

これだけ育ててきたジュニアは、これからどんな花を咲かせてくれるのだろうか？そんな期待に胸を膨らませながら家路についた。

平成15年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

●開催日 平成15年5月19日(月)、20日(火) ●開催コース 磯子カンツリークラブ 6,324ヤード パー73

エントリー139名/出場者131名/欠場者8名

順位	選手名	倶楽部	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	小山恵利子	関東ジュニア	73	74	147
2	若林舞衣子	関東ジュニア	73	74	147
2	藤田 幸希	パークレイ	75	72	147
4	南雲 真理	岡部チサン	73	76	149
5	森 桜子	扶桑	79	71	150
5	渡辺 恵子	高島	75	75	150
5	安田 紀子	日本体育大	78	72	150
8	荒嶋 桂子	岡部チサン	78	73	151
8	増島 忍	中央学院大	76	75	151
10	吉田弓美子	関東ジュニア	76	76	152
11	佐々木祥子	妙高	77	77	154
12	下山 由香	高島	81	74	155
12	金子 未来	日本大	80	75	155
12	下川めぐみ	ファイブエイト	80	75	155
12	青木 敬子	関東女子	75	80	155
16	塚原いずみ	坂	76	80	156
16	高橋香雅美	小田原・松田	80	76	156
16	高島 幸	法政	78	78	156
16	岡橋 早里	オーク・ヒルズ	76	80	156
21	永嶋至沙江	朝富士	80	77	157
21	渡辺 順子	中央学院大	80	77	157
21	山下 乃子	専修大	79	78	157
21	露木 直子	東名厚木	78	79	157
25	杉山 加奈	東宇宮	84	74	158
25	田上 五海	日本大	79	79	158
25	塚原夏奈子	甲斐	80	78	158
25	長瀬 万寿	東大	78	80	158
25	竹田百合恵	グリーンパレイ	80	78	158
30	神津 成美	下野	82	77	159

以上日本女子アマチュアゴルフ選手権出場資格選手

30	浅川 弘子	矢野	84	75	159
30	篠塚 美幸	富田	78	81	159
30	加藤 理川	伊豆大	81	78	159
30	石川 彩子	専修大	81	78	159
30	松本 京子	鳩山	77	82	159
30	梅山 恭子	中央学院大	78	81	159
30	安田このみ	鳥山	77	82	159
38	杉浦ちえみ	寄居	79	81	160
38	阿部 悠	下田	81	79	160
38	川味 千枝	愛媛	78	82	160
38	岡宮 路子	小田原湖本	83	77	160
38	高橋友希子	日本大	79	81	160
38	橋本真直美	セブンレイクス	77	83	160
44	三木恵美子	富田	83	78	161
44	佐藤 里菜	ロイヤルスター	82	79	161
44	関根奈緒美	セントラル	77	84	161
44	大塚 貴子	霞ヶ浦出島	79	82	161
48	金子 弥生	東名厚木	86	76	162
48	中島佳奈子	甲斐	85	77	162
48	大曾根理恵	小田原・松田	81	81	162
48	黒沢 有希	中央学院大	81	81	162
48	林 佳世子	ロイヤルスター	80	82	162
48	加藤 勝栄	相模原	80	82	162
48	渡谷 知里	フレスト	80	82	162
55	青木 亮子	東大	84	79	163
55	矢嶋 里菜	東大	82	81	163
55	小川 美佳	御殿場	81	82	163
55	栗原美佐枝	小田原・松田	82	81	163
55	小林かおり	立川国際	78	85	163
60	五十嵐洋子	同	86	78	164
60	鈴木 章古	東京湾スプリングス	82	82	164
60	鈴木 麻美	カレドニア	81	83	164
60	鈴木ゆり子	富士御殿場	82	82	164
64	上野 千鶴	ゴールデンレイクス	83	82	165
64	八木美智代	ミオス菊川	82	83	165
64	福田 淳子	セントヒルズ	83	82	165
64	豊島裕美子	千代田	83	82	165
64	吉野 香	千葉大	81	84	165
69	河野ひろみ	小田原・松田	84	82	166
69	矢島智恵子	霞ヶ	85	81	166

予選競技メダリスト選手

第1ブロック 大塚 貴子(霞ヶ浦出島) 73ストローク
第2ブロック 金子 未来(日本大) 71ストローク

順位	選手名	倶楽部	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
69	山本美恵子	新千葉	83	83	166
69	嶋田万里子	長野	83	83	166
69	小森 幸恵	矢野	82	84	166
69	斉藤 愛瑛	関東ジュニア	84	82	166
69	坂本 真菜	境川	80	86	166
76	藤 悠子	児玉スプリングス	84	83	167
76	堀田 瑞穂	三島スプリングス	84	83	167
78	白田 秋子	飯能グリーン	88	80	168
78	佐藤 彩香	小田原・松田	84	84	168
78	平田 悦子	カレドニア	83	85	168
78	寺本 優子	鎌倉	85	83	168
78	松山奈津江	鹿沼72	88	80	168
78	田村 麻衣	ロイヤルスター	84	84	168
84	小坂 順子	千葉	85	84	169
85	田中千枝子	日高	89	81	170
85	大原真理子	東京湾スプリングス	86	84	170
87	新井えり子	杉ノ郷	88	83	171
87	尾関 久江	武蔵	84	87	171
89	片野 由希	プリンスランド	89	83	172
89	川口文恵子	富士御殿場	89	83	172
89	藤井美穂	富士御殿場	85	87	172
89	落合 麻紀	小田原・松田	86	86	172
89	大木 里香	中央学院大	86	86	172
94	村田トシ子	鎌倉	85	88	173
94	山崎 久美	習志野	89	84	173
94	高野 順子	南摩	86	87	173
94	後藤 雅生	東京	85	88	173
94	望月 和	大平台	84	89	173
99	宮澤 貞子	新千葉	90	84	174
99	藤田 裕子	新千葉	88	86	174
99	橋 達子	船橋	84	90	174
102	森本加奈子	玉野	89	86	175
102	宝田 朝子	豊月・佐野	89	86	175
102	利 和子	日高	90	85	175
102	秋谷美智子	筑波学園	84	91	175
106	山口八重子	筑波学園	88	88	176
106	中田裕実子	鹿沼	88	88	176
106	笠巻 里奈	豊月・佐野	90	86	176
109	井坂すい子	八千代	89	88	177
109	太田由紀枝	千葉国際	90	87	177
109	上原 由	真名	89	88	177
109	倉片 史	ザ・レイクス	92	85	177
109	高橋 育子	伊豆大	88	89	177
109	青柳 好美	伊豆大	88	89	177
115	熊澤勇以子	相模原	98	90	178
116	坂本 榮子	レインボーヒルズ	91	88	179
117	鈴木 昌子	飯能	91	89	180
118	浅川 洋子	高坂	90	91	181
118	中里さや香	鹿沼	89	92	181
120	雲 祐子	袖ヶ浦	92	90	182
120	伊藤 陽子	鹿沼	93	89	182
120	嶋田マユミ	豊月・佐野	89	93	182
123	入江 佳子	磯崎	92	91	183
124	石井 洋子	横浜	93	91	184
125	安藤真佐子	東京五日市	92	93	185
126	岩本 昌美	富士御殿場	99	87	186
127	岩瀬 廣子	富士御殿場	97	91	188
128	山田優美子	レインボーヒルズ	100	98	198
129	松山 朱実	鹿沼	99	108	207
	吉田ケイ子	武蔵	92		
	飯沼 恵子	日光	93		
	加藤 仁美	高松			
	林 恵子	総武			
	鈴木 良子	館山			
	市川 慶子	江戸			
	原田 町子	習志野			
	八向 真帆	鳥山			
	津島さやか	霞ヶ浦出島			
	利根川雅美	日本体育大			

特別表彰

(25回出場表彰) 三木恵美子(富士)
(20回出場表彰) 加藤 勝栄(相模原)/嶋田万里子(長野)
(15回出場表彰) 小坂 順子(千葉)
(10回出場表彰) 橋 達子(船橋)/利 和子(日高)

平成15年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

魔のバンカーを避けて 勝機をつかんだ新人、富田

……ゴルフの達人たちの凝縮された戦い……

文・森口静彦 (KGA広報委員) 写真・塚越克一 (KGA広報委員)



◆ 関東グランドシニア小史

初っ端から古い話で恐縮だが、第10回オリンピック大会(1932年、ロスアンゼルス)の三段跳びゴールドメダリスト南部忠平氏は「スポーツは人生のすべてではない。だが、人生はスポーツによってすばらしいものになる」と書いて自伝の結びとしている。これをゴルフに置換えると「ゴルフは人生のすべてではない。だが、人生はゴルフによってすばらしいものになる」と言えよう。グランドシニアの参加資格は70歳以上(昭和8年以前の生れ)、ゴルフによって素晴らしい人生を過ごして来られたゴルフの達人たちの競技が関東グランドシニアだ。

また、何事によらず、その歴史を知らずして物事を正しく理解することはできない。と言う訳で、まず、本競技の歴史の概要から始める。関東グランドシニアが関東シニアから分かれて開催されたのは昭和42年(参加者30名)が最初であり、今年で37年目に当たる。しかし、本年度の競技は開催回数としては第29回目である。その差はどこからくるのか?

実は、昭和48年から昭和55年まで、参加者減少のため休止となったのが食い違いの原因である。少子高齢化の今日では想像もできない事態であった。

年号が変わり、平成になってからの14年間の優勝者を見ると、元年に山口梅吉氏(大厚木・当時)が初出場、初優勝してから3年まで連続優勝した後、8年に4回目の最多優勝を記録。4年は初出場の成宮秋良氏(横浜)が初優勝し、翌年も連勝。



コースをバックに優勝の富田一幸選手

一方、最近5年間の優勝は岡野幸男氏(日高)が12年に2度目の優勝を果たした以外、すべて初出場者にカップが渡った。毎年、多数の、かつ強力なシニアがグランド入りしており「初出場以外は勝てない」がジンクスになりそうな気配だ。

◆ 予選から見た新旧の競り合い

5月12日、第1、2ブロックの予選競技が茨城ゴルフ倶楽部の東西両コースに分かれ、244名が参加して、薄曇りの空の下で開催された。第1ブロック(東)は2位タイ(78)の6名に3打差をつけた富田一幸氏(ザ・鹿野山)75がトップ通過。一方、第2ブロック(西)は1位は伊藤脩氏(清川)の76、以下2位タイ4名(77)、6位タイ2名(78)とそれぞれ1打差であった。

今競技初出場で予選通過は29名。トップ通過の富田、伊藤両選手も初出場組だ。29名のうち70台をマークしたのは8名(28%)、3人に1人が70台で通過していることになる。一方、旧人組では14名

(12%)が70台。

優勝争いは新人8名対旧人14名の競り合いとなるのか、或いはダークホースが飛び出すか、決勝競技での激戦が予想された。

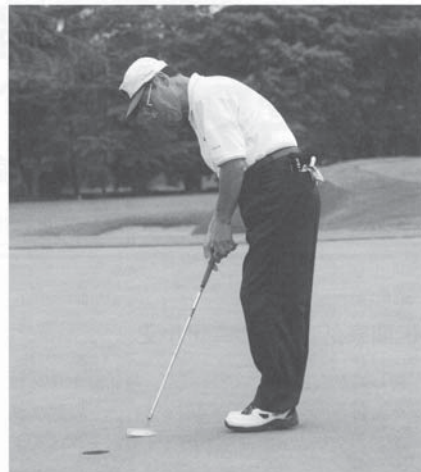
予選で特筆すべきは、第2ブロック出場の山田真早志氏（鷹之台）のエージシュート。御年79歳の同氏が2位タイで通過したスコア77は、年齢を2ストロークも下回る。アマチュアにとって、70台のエージシュートは高嶺の花、まさに錦上特大の花を添える快挙であった。

❖ 決勝開催コース……4回目の我孫子開催

若芝や かゝやきそめし 手賀の水 青霞生
これは、戦前、目黒書店のゴルフ雑誌「GOLF」（昭和13年5月）に掲載されている我孫子ゴルフ倶楽部で詠んだ俳句。この句の通り手賀沼に面した台地にある同コースは、昭和5年10月、赤星六郎氏設計により開場した。しかし、第2次大戦中、インコースが芋畑等とされていたため荒廃、昭和23年、同一場所にインコースを修復、改造し、18ホールとして正式開場したのが今日の我孫子ゴルフ倶楽部だ。5番の御神木の榎を始め、松、梅、桜、ヒマラヤ杉、アカシア等樹木の種類も豊富。荒垣秀雄氏によれば「松林のたたずまいも年期がはいっていて、大和絵を見るような風格」のゴルフ場だ（『ゴルフ風物誌』実業之日本社）。我孫子が本競技の会場になるのは、昭和60年、平成3年、同9年に次いで4回目。グリーンをやや重くしたほかは、昨年10月に開催された日本シニアオープンゴルフ選手権と同じセッティングで選手たちのハイレベルな技術に対応させた。

❖ ゴルフ日和に恵まれた決勝

曇り、気温19℃とやや肌寒い感じの中、ボロシャツ、長袖、ベスト、或いはセーター着用と思いきい思いのいでたち。スタート担当役員との応対、同伴競技者との挨拶、ボールの確認等全く無駄のない動きの中に、過去のゴルフライフの凝縮されたグランドシニアならではの円熟さうかがえる。そして、それぞれに個性溢れるスイングで達人たちがスタートして行く。手にしているのはいずれ



予選から好調に飛ばした富田一幸選手

もチタンのデカヘッド。そして240ヤード、或いはもっと先まで飛ばす選手もいるから驚きだ。

雨もなく、風もなく、暑くもなく、絶好のゴルフ日和、コースは最高のコンディション。これではプレーオフも有り得べしなどと話しているところに、3アンダーの選手がいるというニュースが飛び込んで来た。押っ取り刀で現場へ急行だ。インスタート12組、富田一幸（ザ・鹿野山）、小佐野孝治（府中）、小川博道（多摩）、西浦勝己（伊豆下田）ら各選手の組に追いついたのが7番ホール（204ヤード、パー3）だった。

富田選手はイン、4バーディ、3ボギーの35で折り返し、アウトに入ってから2、3番ホールをバーディで上がって3アンダーとしていた。その後、4、6番ホールでボギーを叩き、広報子が現場到着した時点では、スコアは1アンダー。だが、ティショットをグリーン左奥のバンカーのしかも左縁寄りに入れていた。バンカーからの2打目は壁に当たってはね返り、3打目は、バンカーを脱出したものの、カラーで止まってしまった。4打目はバターでカップ約60センチオーバー。これを入れてダブルボギー。7番ホールを終えて、-1が一転、+1となった。緊張気味の富田選手だが、同伴競技者は努めて明るく話しながら、「頑張れ、頑張れ」



エージシュートを達成し、2位タイ入賞の吉田光守選手（左）

と声援を送る。その甲斐あってか、富田選手は7番の痛手を引きずることなく、8、9番をパーとし、イン35、アウト38計73。既に75でホールアウトしていた吉田光守（嵐山）、矢嶋正一（東松山）の両選手を抜いてトップに立った。

一方、予選第2ブロック（西）メダリストのレフティ伊藤選手はインスタート。バーディが取れず41と出遅れ。アウトに入ってから、1バーディ、1ボギーのパープレーで上がったものの、富田選手をとらえることができず、6位タイに終わった。

結局、新人の富田選手が予選第1ブロック（東）メダリストの余勢をかって完全優勝。2位タイ吉田、矢嶋両選手、それに4位永井重吉氏（磯子）はいずれも旧人、優勝こそ逃したが強い旧人を印象付けた。

❖ チャンピオン富田選手

……資格面でぎりぎりの初優勝

富田選手は昭和8年12月21日生れ。今競技の出場者で2番目の若さだ。あと11日遅かったら来年からの資格となる、ぎりぎりの資格による出場での初優勝だ。同選手は朝晩2時間、計12kmのジョギングで下半身を鍛える。練習ボールは週に2,000発。所属倶楽部のザ・鹿野山CCでは倶楽部選手権3回、シニア選手権3回。ロイヤルスターCCでは倶楽部選手権1回、シニア選手権5回を手にかけている猛者だ。我孫子GCでのプレーは今回が初め



36・39と安定した力で2位タイに入賞した矢嶋正一選手

てだが、バンカーに入れないように心掛け、またグリーンはピンをデッドに狙わず、ただ真ん中に落とすように気をつけたのが勝因と自己分析した。

❖ 去年の幻を今年実現

……吉田光守選手のエージシュート

昨年5月27日、程ヶ谷カントリー倶楽部で関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技が行なわれ、ホールアウトした40名の中に、74ストロークで上がり、エージシュートでの優勝を目前にしていた吉田光守選手（嵐山）がいた。ところが、雷雨のため競技は中止、再試合となってしまった。同選手のエージシュートでの優勝は夢と消えてしまったのだ。それから1年、今選手権において、吉田選手はインからスタートして37、アウトは1番イーグルを含む38、計75と頑張り、優勝には僅かに2打足りずに2位に輝いた。そして、去年の幻、公式戦初のエージシュートは達成されたのだ。しかも現在76歳の同氏にとっては1ストローク下回る。プライベートでは数回達成済みで、既に慣れたこととはいえ、公式戦での達成は記録に残る快挙だ。週2回、プロの特訓を受けて練習された何よりの賜物であった。

最後に、グランドシニアの皆様の益々の球運長久を祈って、雑誌「GOLF」（前出）の「我孫子所見」からもう一句ご紹介しましょう。

若芝の フェアウェーゆかん 快く 青霞生

平成15年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表

●開催日 平成15年5月26日(月) ●開催コース 我孫子ゴルフ倶楽部 6,231ヤード パー72

エントリー126名/出場者124名/欠場者2名

順位	氏 名	倶 楽 部	アウト	イン	合計
1	富田 一幸	ザ・鹿野山	38	35	73
2	吉田 光守	嵐 山	38	37	75
2	矢崎 正一	東 松 山	36	39	75
4	永井 重吉	磯 子	40	36	76
4	菊地 泰司	戸 塚	38	38	76
6	鈴木 正治	府 中	39	38	77
6	大村 豊	富士箱根	39	38	77
6	川添 秀	ハ 王 子	38	39	77
6	堀内 良一	富 里	37	40	77
6	伊藤 慎秋	清 川	36	41	77
11	勝俣 幸雄	富 士 台	40	38	78
11	古谷 章次	嵐 之 土	39	39	78
13	宮坂 昭治	本 厚 木	39	40	79
13	山本 春朗	セ ン ト ラ ル	39	40	79
13	森 泉	袖 ヶ 浦	39	40	79
13	岡部善三郎	津 川	38	41	79
17	石川 一三	東 名	41	39	80
17	志田 宜男	館 山	41	39	80
17	岡田 四郎	千 葉	40	40	80
17	柴崎 行雄	一 の 宮	40	40	80
17	小久保達雄	寄 居	38	42	80
22	高嶋 一	嵐 山	43	38	81
22	岩井 二郎	霞 ヶ 間	40	41	81
22	中村 義	武 蔵	40	41	81
22	丸山 久夫	武 蔵	39	42	81

[以上日本グランドシニアゴルフ選手権競技出場有資格者]

26	大野 光雄	大 相 模	43	39	82
26	末吉 信夫	栗 橋 国 際	43	39	82
26	鈴木 得自	大 厚 木	42	40	82
26	菅野美保徳	大 松 本	42	40	82
26	山岸 秀幸	嵐 之 台	41	41	82
26	福嶋 悠紀	ヴィラ 夢 科	40	42	82
26	小川 博道	多 摩 摩	39	43	82
26	坂井 元	常 盤 池	39	43	82
26	魚本 司朗	鳥 山 城	39	43	82
26	平野 元一	廣 清 堂 玉	38	44	82
36	大堀 達也	相 模 模	44	39	83
36	山田真早志	嵐 之 台	44	39	83
36	土屋 尚	嵐 之 台	43	40	83
36	富田 純	嵐 之 台	42	41	83
36	坂入 弘一	取 手 国 際	41	42	83
36	北田 潤	立 川 国 際	40	43	83
36	浜口 正俊	我 孫 子	40	43	83
36	岩村 文夫	セ ン ト ラ ル	40	43	83
36	杉山 登	都 賀	39	44	83
46	水越 要	日 光	44	40	84
46	和田 貞武	桜 ヶ 丘	43	41	84
46	吉沢 友七	東 京 よ り う り	42	42	84
46	平川 基春	美 香	41	43	84
46	伊藤 辰男	小 田 原 湯 本	41	43	84
46	永川 義雄	土 浦	41	43	84
46	浅田 勇	青 島	40	44	84
53	山崎 徳人	多 摩 摩	46	39	85
53	岩崎 寿幸	皇 月 ・ 佐 野	44	41	85
53	新屋 忠	藤 之 谷	43	42	85
53	木元 栄次	嵐 之 台	43	42	85
53	清水 祥一	狭 山	43	42	85
53	横手 秀夫	利 根	41	44	85
53	筒井喜久雄	摩 城	41	44	85
53	重宗 信正	霞 ヶ 間	41	44	85
53	足立今朝六	総 武	41	44	85
53	山田 享弘	武 蔵	41	44	85
53	藤原 竹志	浦 和	39	46	85

予選メダリスト

第1ブロック 富田 一幸(ザ・鹿野山) 75ストローク
第2ブロック 伊藤 慎秋(清 川) 76ストローク

順位	氏 名	倶 楽 部	アウト	イン	合計
64	市川金次郎	美 津 里	47	39	86
64	今井 昭一	中 津 川	46	40	86
64	天野 雅之	取 手 国 際	44	42	86
64	中山 廣平	常 陸 陽	44	42	86
64	竹内 勉	我 孫 子	43	43	86
64	菅谷 三郎	東 名 厚 木	43	43	86
64	木村 俊夫	大 相 模	42	44	86
64	瀧野 幸三	霞 ヶ 間	42	44	86
72	富山 信治	狭 山	48	39	87
72	井上 義則	袖 ヶ 浦	47	40	87
72	石原 昇	嵐 山	46	41	87
72	小野瀬 典	龍 ヶ 崎	46	41	87
72	橋 丈二	利 根	45	42	87
72	荒井 照夫	藤 ヶ 谷	44	43	87
72	藤木 賢	嵐 山	44	43	87
72	浅野 義文	栗 橋 国 際	43	44	87
72	深澤 源一	廣 済 堂 玉	41	46	87
81	茅野 実平	康 訪	49	39	88
81	武田 博	入 間	48	40	88
81	服部 利雄	府 中	46	42	88
81	小幡 政雄	利 根	45	43	88
81	野村 義弘	飯 能	45	43	88
81	友野 正信	江 戸 崎	44	44	88
81	下川 順一	越 前	43	45	88
88	井草 茂	関 東 国 際	47	42	89
88	秋山 俊	日 高	46	43	89
88	大矢 徳光	津 久 井 湖	46	43	89
88	島本 郁男	武 蔵 池	45	44	89
88	小佐野孝治	府 中	45	44	89
88	保田 安	袖 ヶ 浦	44	45	89
94	土屋 勝義	中 津 川	46	44	90
94	丹羽富美雄	狭 山	45	45	90
94	小林 利男	中 津 川	45	45	90
94	池永 敏雄	利 根	43	47	90
94	深澤 満徳	相 模 模	43	47	90
94	星野 光	群 馬	40	50	90
100	田中 満司	武 蔵 義	49	42	91
100	山口 梅吉	横 濱	46	45	91
100	平林 豊	武 蔵 義	45	46	91
103	市来 達朗	千 葉 国 際	48	44	92
103	齋藤 芳康	霞 ヶ 間	46	46	92
103	稲木二三男	茨 城	45	47	92
103	柴田 隆一	霞 ヶ 間	43	49	92
103	寺門 道弘	千 葉 国 際	43	49	92
108	西浦 陽己	伊 豆 下 田	48	45	93
108	小谷野利三	飯 能	47	46	93
108	式田 春樹	船 橋	42	51	93
111	浜村 浩安	宇 都 宮	47	47	94
112	中澤 信八	大 妻 野	49	46	95
112	萩原 太一	富 士 台	47	48	95
112	関 謙夫	嵐 山	46	49	95
115	安芸 周一	取 手 国 際	47	49	96
115	久我光三郎	サンランド那須	46	50	96
117	漆原 武	千 葉 業	50	47	97
117	金子 俊幸	川 越	49	48	97
119	加藤 元亨	船 橋	48	50	98
	瀬戸 恵一	サザンクロス			
	谷間 芳明	真 名 高			
	岡野 幸男	日 本			
	野本 俊夫	袖 ヶ 浦			
	関口 満治	京 葉			
	木村 良雄	我 孫 子			
	品田仁三郎	杉 ノ 郷			

特別表彰(関東シニア・関東ミッドシニア・関東グランドシニア決勝競技出場)

(20回出場表彰) 岡野 幸男(日 高)
(15回出場表彰) 永川 義雄(土 浦)／吉沢 友七(東京よりうり)
(10回出場表彰) 小谷野利三(飯 能)／式田 春樹(船 橋)／和田 貞武(桜ヶ丘)

※エージシュート 吉田 光守(嵐 山) 75ストローク

New

新規加盟倶楽部紹介

米山水源カントリークラブ



1. 倶 楽 部 名 米山水源カントリークラブ

住 所 〒949-3255

新潟県中頸城郡柿崎町大字上下浜2362

電 話 025-536-3121

F A X 025-536-3123

2. 開場年月日 平成15年2月1日

3. 理 事 長 杉本 英世 (S.13.02.16)

倶楽部代表者 杉本 英世

4. 倶楽部代表委員 未定

5. 支 配 人 戸川 忠 (S.41.12.27)

6. 倶楽部概要

当倶楽部は、新潟県上越市と柏崎市との中間地点に位置し、海岸に近いので冬の降雪は少なく、新潟県にしてはクローズ期間もおおよそ2ヶ月程度と短く、例年3月上旬にはオープンできる事が大きな特徴です。

東に霊峰米山を、南には妙高・火打など長野

県境との山並みを望み、また米処新潟としての稲作に不可欠な水源としてこの近辺に点在する湖の一つをめぐるようにレイアウトされており、景観もよく、高低差のほとんどない松林でセパレートされた林間コースとなっています。

開場は昭和48年8月と約30年の歴史を有しておりますが、平成15年2月より現在の経営となり、全日本シニアプロアマトーナメントあるいはオープンコンベンなどさまざまな企画を展開しております。また、5階建てクラブハウスの3階～5階はホテル階となっており、全42室はオールツインタイプ84名までご宿泊が可能です。その他各種ご宴会なども承っており、地物の魚介類やカニなどが好評です。

コースは、米国のペンツ&ボエロット社による設計でラフだけでなくフェアウェーにも微妙な起伏があり、正確なショットが要求されるコースとなっております。

アクセスは、北陸自動車道柿崎ICより国道8号線を上越方面へ約5kmと大変恵まれており、都心から上越新幹線をご利用の場合は、長岡駅より信越線に乗り換え柿崎駅下車、あるいは越後湯沢駅から北越急行(ほくほく線)でくびき駅下車、いずれもタクシーで10分ほどで到着いただけます。

関東ゴルフ連盟では
このたび
ホームページを
開設いたしました。

関東ゴルフ連盟
KANTO GOLF ASSOCIATION

HOME | 競技情報 | 加入者データベース | クレニオ | 加盟倶楽部一覧 | KGAのカード | GRIリンク

トピックス

NEW 2003/09/01 ホームページを開設いたしました。

http://www.kga.gr.jp

分科委員会

平成15年度 第1回 常務理事会議事録

日 時 平成15年4月22日(火) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 吉田理事長
牛込、小宮山、
普勝各副理事長
赤羽、大原、齋藤、篠崎、
高橋、田中、塚原、南学、
野口、萩原、広中、
渡邊各常務理事
古賀理事(入会推薦理事)

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を
宣し、2月20日の総会以後のお礼と報
告、そして今後の協力依頼がなされた。
また、理事長より、議事録署名者とし
て大原慎二、齋藤文志郎両常務理事が
指名された。

— 討議及び決議事項 —

①各分科委員会担当副理事長について
吉田理事長より以下の提案がなされ
承認された。
「今年度より規約第18条により、各
分科委員会を三副理事長にご担当頂
き、委員会活動を行っていききたい。
また、委員長会議を適宜開催し、各
委員会の横の連絡を密にしていきたい。」

②分科委員会報告及び提案事項

(1)総務委員会、月例委員会
小宮山総務委員長より、同日午前
10時より行われた委員長会議の報
告がなされ、月例競技参加料を現
在の¥10,000から、他の競技に合
わせ20%減額し、¥8,000にす
ることが承認され、6月月例より実
施することとした。
(2)競技委員会
牛込副理事長より、国体関東茨城
ブロック大会の後援及び競技委員
長、副委員長の派遣依頼があり、
大会競技委員長に松本富夫KGA競
技委員長、同副委員長に田中克幸
KGA競技副委員長を派遣すること

となった旨の報告がなされた。

③入会審査について

4月22日現在、申請のあった加盟及
び退会の申請を承認した。

(1)加盟申請倶楽部

- 新潟県 米山水源カントリークラブ
- 茨城県 静ヒルズカントリークラブ
(旧穴戸ゴルフクラブより分離)

(2)退会倶楽部

- 新潟県 レイクビューゴルフ
(新たに米山水源カントリークラブ
として加盟)

- 栃木県 黒磯カントリー倶楽部

(3)JGA個人会員

- 91名の申込みを承認し、勸日本
ゴルフ協会に書類を提出するこ
ととした。

④後援競技について

4月22日現在、後援申請のあった次
級競技の後援を承認した。

「第1回千葉県スクラッチ選手権競技
大会」

主 催：千葉県ゴルフ協会・千葉県
ゴルフ場支配人会

予 選：平成15年8月25日(月)
習志野カントリークラブ キング
コース

決 勝：平成15年8月26日(火)
習志野カントリークラブ キング
コース

⑤今後のスケジュールについて

下記日程にて今後のスケジュールを
決定した。

- 通常総会
平成16年2月20日(金)
午前10時 ニューオータニ
- 常務理事会
第2回 平成15年7月10日(木)
正午 KGA会議室
- 第3回 平成15年11月13日(木)
正午 KGA会議室
- 理事会
第2回 平成15年11月26日(水)
正午 ルビーホール
- 第3回 平成16年1月21日(水)
正午 ルビーホール

⑥その他

(1)アンダーハンディキャップ選手権
各都県予選競技
千葉県ゴルフ協会より上記予選競
技の参加人数増員を図るための振
興策として、KGAの予選競技と
県大会とを兼ねて開催する旨の申
請があり、詳細の検討は正副理事
長に一任された。

全議事終了後、吉田理事長13時30分
閉会を宣した。

平成15年4月22日
議事録確認署名者

議 長 吉田 友明 (印)
署名者 大原 慎二 (印)
署名簿 齋藤文志郎 (印)

平成15年度 第2回 常務理事会議事録

日 時 平成15年7月10日(木) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、
普勝各副理事長
岩宮、大原、齋藤、篠崎、高
橋、塚原、南学、萩原、広中、
森川、渡邊各常務理事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を
宣し、議事録署名者として篠崎勝宏、
高橋正孝両常務理事を指名した。

— 討議 及び 決議事項 —

①退任理事について

小宮山副理事長より下記提案があり、
承認された。
「下記両理事が倶楽部代表者を退任
され、連盟規約第14条の資格を喪失
し、KGA理事を退任されることに
なるが、規約第15条により、現理事
の任期残存期間も1年以上あるため、
来年度総会に理事を推挙したい。そ
の候補については、両県選出の常務
理事にお願いし、次回常務理事会に
て候補者を決定したい。」
静岡県 (伊豆大仁カントリークラブ)
西原 恆理事

神奈川県(戸塚カントリー倶楽部)
吉岡文平理事

②入会審査について

(1)加盟申請倶楽部

申請のあった2倶楽部の加盟が承
認され、1倶楽部の仮承認が承認
された。

正会員

- 新潟県 ノーブルウッドゴルフ
クラブ(準会員より正
会員に移行)

- 新潟県 柏崎黒姫カントリー倶
楽部

- 千葉県 カナリヤガーデンカン
トリークラブ(仮承認、
推薦理事の視察後承認
予定)

(2)JGA個人会員

70名の申込みを承認し、勸日本ゴ
ルフ協会に書類を提出することと
した。

③分科委員会報告及び提案事項

(1)競技委員会、コース選定部会
上記委員会担当牛込副理事長より、
下記提案、および報告があった。

- 平成16年度以降の主催予選競技
コース選定について

従来の選定方式を改め、今後は
倶楽部対抗競技以外は、KGA
コース選定部会にて一定の条件
を出し、候補倶楽部を推薦して
頂き、最終決定はKGAにて行
うこととしたい。

- 予選競技ブロックについて

関東アマに関しては、参加者増
の為、来年度は1ブロック増と
したい。
また、参加者の予選ブロック分
けに関しては、参加者の希望す
るブロックへの出場を可能とし
たい。

- 倶楽部対抗競技開催方式について
今年度は都県別に新方式による
開催を実施し、各都県より賛否
様々な意見が出されている。委
員会としては、予選、決勝を同
一条件で行うこととし、また参

分科委員会

加人数等、来年度以降の開催方
式について、再度、競技委員会
で検討していくこととしたい。

(2)コース・レート委員会

- 女子JGAハンディキャップと女
子コース・レートについて大原
コース・レート委員長より下記
報告があった。

JGA女子ハンディキャップの普
及のため、その算定基準となる
コースレートについて、従来の
2箇所からの査定から、倶楽部
が希望する全てのティからの査
定を行うこととした。

(3)広報委員会

高橋広報委員長より下記報告があ
った。

- ホームページの開設について
8月上旬開設の予定で準備を進
めている。また費用に関しても
予算を大幅に下回る経費での開
設を予定している。

- KGAニュースについて
広告スポンサーより広告料減額
の依頼があり、それに伴い、今
年度は10月号と12月を合併号と
し年3回の発行とした。また、
来年度についても年3回発行と
したい。

また、協賛会社について常務理
事各位への協力依頼がなされた。

- 携帯を利用した情報配信サー
ビスについて

現在、競技情報を配信している
が、更なるJGAハンディキャ
ップの普及を図るため、ハンディ
キャップの照会システムサー
ビスを計画している。

- KGA「75年史」発行について
平成17年にKGA創立70周年にな
るが、広報委員会としては、予
算ならびに、発行間隔を考慮
し、75年史として発行したい。

④事務局人事について

小宮山副理事長より、現在局長が空
席となっているが、内部昇格により
市橋克之丞を局長に推挙したいとの
提案があり、承認された。

全議事終了後、吉田理事長13時40分
閉会を宣した。

平成15年7月10日

議事録確認署名者

議 長 吉田 友明 (印)
署名者 篠崎 勝宏 (印)
署名者 高橋 正孝 (印)

平成15年度 第3回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年4月25日(金) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 中野委員長
小室、阪田、平山各副委員長
岡野、河本、小坂、桜井、
渡辺各委員
学生連盟委員

— 討議及び決議事項 —

①4月度月例競技報告および総括

平山副委員長より、下記の報告及び
総括がなされた。

「女子の部において、77ストローク
でキャットアケミナカタ選手と岡橋
早里選手が1位タイあったが、両選
手とも次回月例競技には出場出来な
いとのことで、両選手の同意を得
て、サドン・デス方式のプレーオフ
を行った(キャットアケミナカタ選
手の優勝)。今後月例競技にプレー
オフ有資格者全員が出場出来ない場
合の、優勝者を決定する規定を作成
する必要があると思われる。コース
コンディションは最高の状態で、グ
リーンもコンパクションが高く、ア
プローチショットに各選手が苦勞し
たため、上位選手にもあまり良いス
コアは出なかった。特に女子にとっ
ては難度の高いコースであったと思う。」
エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成15年4月15日(火)
コ ー ス 武蔵カントリークラ
ブ 笹井コース
エントリー 168名
(男子140名 女子28名)
欠 席 者 数 事前連絡5名

(男子5名)
当日連絡 1名 (男子1名)
無断欠席 0名
出場者数 162名
(男子134名 女子28名)
科 罰 者 0名
ミーティング欠席 0名
失 格 者 1名 (男子1名)
棄 権 者 1名 (男子1名)
次回プレーオフ なし

②6月度月例競技について

6月度月例競技は那須ゴルフ倶楽部にて開催されるが、コースセッティングは松本前委員長に一任することを確認した。

③ その他

(1)関東アマ決勝および関東女子決勝へのシード枠、参加料の減額について
去る4月22日に開催された委員長会議および常務理事会にて標題の件が検討され、中野委員長よりその報告がなされた。主な内容は以下のとおり。
「関東アマ予選参加人数の増加に伴い、月例競技からのシード枠を減らしてほしいとの要望があったが、月例競技の開催方式や意義等を説明し、月例委員会では現在のシード枠が妥当であるとの考えを説明した。その結果、委員長会議での同意を得ることができ、シード枠については現行どおりとなった。また、参加料の減額が常務理事会に上程され、6月度競技より20%の減額が実施されることとなった。」

(2)第1位がタイの場合の優勝者決定方法について
現在の規定では、「1位がタイの場合は、次回の月例競技と兼ねてプレーオフを行う」となっているが、今月の女子の部はプレーオフ有資格者全員が次回月例競技には参加できないとのこと、現在の規定では優勝者を決定することが出来なかった。これにより優勝者

決定方法が再考され、以下のよう
に決定した。
第一優先：次回の月例競技と兼ね
てプレーオフを行う
第二優先：プレーオフ有資格者全
員が次回月例競技に参加
できない場合は、即
日サドン・デス方式の
プレーオフを行う
第三優先：日没や天候等によりサ
ドン・デス方式のプ
レーオフが出来ない場
合は、マッチング・ス
コアカード方式にて優
勝者を決定する。

③来年度競技日程について

中野委員長より来年度月例競技日程案が発表され、全委員これを確認した。詳細な日程はKGAおよびJGA主催競技の日程を考慮して決めるため、本委員会では決定せず、次回委員会以降に決めるものとした。

平成15年度 第4回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年6月17日(火) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 中野委員長
小室、平山両副委員長
岡野、河本、桜井、
渡辺各委員
学生連盟委員

—— 討議及び決議事項 ——

①6月度月例競技報告及び総括

小室副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。
「天候が心配されたが快晴に恵まれ絶好のコンディションであった。しかしグリーンが難しくラウンドにかなり時間がかかった。参加人数が少なかったことで特別問題とはならなかったが、次回より前の組から15分遅れた場合は警告なしにペナルティを課すこととした。」
エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成15年6月5日(木)
コ ー ス 那須ゴルフ倶楽部
エントリー 106名
(男子83名 女子23名)
欠 席 者 数 事前連絡5名
(男子4名、女子1名)
当日連絡 1名 (男子1名)
無断欠席 0名
出場者数 100名
(男子78名 女子22名)
科 罰 者 0名
ミーティング欠席 0名
失 格 者 0名
棄 権 者 0名
次回プレーオフ なし

②7月度月例競技について

7月度月例競技は江戸崎カントリー倶楽部東コースにて開催されるが、コースセッティングは平山副委員長に一任することを確認した。

③ その他

(1)実施規定の改定について
今年度より女子のポイントを1位15点から順次15位1点(従来は1位10点から順次10位1点)としたこと、および参加料を8,400円(従来は10,500円)としたことにともない、この2点を改定した新しい実施規定が事務局より提案され、全委員これを了承した。

(2)来年度競技日程について
中野委員長より来年度月例競技日程案が発表され、全委員これを確認した。詳細な日程及び交渉担当委員が決定され、次回以降の委員会各担当より交渉状況が発表されることとなった。

(3)スロープレーの防止について
今年度の競技においてはプレーの進行が遅れる傾向が顕著なため、従来は「正当な理由なくして、前の組から20分以上遅れた時は、ペナルティを課す」としていた内規を「前の組から15分以上遅れた時は、ペナルティを課す」と変更することとした。これに伴いプレーの遅い選手には全委員が指導する

ことを確認した。

平成15年度 第5回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年7月8日(火) 正午～
場 所 KGA会議室
出席者 中野委員長
小室、平山両副委員長
岡野、加藤、河本、桜井、
嶋田、山崎、渡辺各委員
学生連盟委員

—— 討議及び決議事項 ——

①7月度月例競技報告及び総括

平山副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。
「梅雨時で雨が心配されたが一日中曇りであった。コースコンディションは良好でコースの全長も比較的短かったため全体的に好スコアがでたが、男子の優勝スコアは物足りないと感じた。本年度関東女子ミッドアマチュア選手権の会場となっているため女子の参加者が多く、プレーの進行が心配されたが、コースセッティングを易しくしたため予想より早く競技を終了することが出来た。」
エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成15年7月1日(火)
コ ー ス 江戸崎カントリー倶
楽部・東コース
エントリー 181名
(男子123名 女子58名)
欠 席 者 数 事前連絡8名
(男子8名)

当日連絡 1名 (男子1名)
無断欠席 0名
出場者数 172名
(男子114名 女子58名)

科 罰 者 1名 (男子1名)
ミーティング欠席 0名
失 格 者 1名 (男子1名)
棄 権 者 0名
次回プレーオフ
《男子》70ストローク
豊島 豊 (東千葉)
吹野耕一 (都賀)

②8月度月例競技について

8月度月例競技は程ヶ谷カントリー倶楽部にて開催されるが、コースセッティングは中野委員長に一任することを確認した。

③ その他

(1)倶楽部入場時の靴について
加藤委員より女子選手の中でゴルフに相応しくない靴を履いてクラブハウスに入場する選手がいるとの報告があった。月例競技は「技術の研鑽とともにルール、マナーの研修の場である」という基本理念に基づき、ミュール(バックベルトのないもの)でも入場を禁止することとした。

(2)来年度競技日程について

前回の委員会において来年度競技を予定している倶楽部との交渉担当委員が決定したが、各担当委員より交渉状況の報告がなされた。

平成15年度 第2回 広報委員会議事録

日 時 平成15年6月27日(金)午後3時
場 所 KGA会議室
出席者 普勝副理事長
高橋委員長
伊室副委員長
片山、塩田、杉山、塚越、西
田、舟橋、増田、森口、山田、
吉川各委員

—— 討議及び決議事項 ——

高橋委員長開会を宣し、副委員長、委員、新任委員紹介の後順次議題審議を行った。

①インターネットホームページ開設スケジュール

8月上旬よりのサービス開始を目標としてデザイン等の打合せを進めている。
当初は競技関連内容を中心としたコンテンツでスタートし、一定期間経過後、関係者及び外部からの意見も

集約し見直しと内容の増設を行なう方向を決めた。また、可能な限り事務職員による手作りのHPを目標とする。

②携帯電話公式コンテンツ「The Golf」による情報提供

すでにJGA、各地区連盟で競技成績やスケジュールを提供して来ているが、携帯電話の利便性を考案し「JGAハンディキャップ確認」を同サイトを利用し可能とするよう交渉している。個人情報保護の面から取り組みを検討中であり問題がなければ近日中にスタートすることとした。

③会報の発行回数の見直し

KGAニュースは、5月、8月、10月、12月の年4回発行されているが、特に10月と12月は発行時期が接近しすぎていること及び、競技が少なくなることもあり、本年は10月と12月の合併号を12月に発行し、来年から年3回の発行にすることで、発行発送経費の削減を見込むこととした。

④会報広報料収入減少とその対策

従来掲載して来た広告につき大幅削減の申し入れを受けていたが、当面上記発行回数減による出稿回数減少で対応し、新規スポンサーの確保を行い減少を少しでもカバーすることとした。

⑤記念誌の発刊

60年史の発刊は、およそ1500万の経費を要しており広報委員会としてはKGAを取りまく内外の情勢の中で、70年史から75年史へ発刊を先に延ばすことを提案する。

⑥KGAニュースNO.83企画案

関東女子から倶楽部対抗までの、KGA主催競技を中心に。

⑦後期競技取材担当の決定

関東ジュニア以降アンダーハンディ選手権までの競技取材担当者を決定した。

月例競技成績表

〔平成15年度4月月例〕 平成15年4月15日（火）武蔵カントリークラブ 笹井コース

男子	ランク	スコア	氏 名	倶楽部
	1	69	松村 道央	鹿沼 7 2
	2	72	飯塚 裕一	藤 岡
	3	73	沢田 信弘	東京五日市
	3	73	金子 光規	レインボー
	3	73	鶴賀 辰徳	ロイヤルスター

女子	ランク	スコア	氏 名	倶楽部
	1	77	がたあけかた	袖ヶ浦
	2	77	岡橋 早里	オーク・ヒルズ
	3	78	関根素穂美	セントラル

〔平成15年度6月月例〕 平成15年6月5日（木）那須ゴルフ倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	倶楽部
	1	69	松村 道央	鹿沼 7 2
	2	70	亀井 隆	唐 沢
	3	71	石井 幹	千葉スプリングス
	4	73	小久保武夫	藤 岡
	5	74	市川 賢	東京国際
	5	74	小林 一三	リバー富士
	5	74	谷口 英樹	セバ・ルステロス
	5	74	露木 実	東名厚木

女子	ランク	スコア	氏 名	倶楽部
	1	77	渡辺 恵子	高 根
	2	79	南雲 真理	岡部チサン
	3	80	五十嵐洋子	藤 岡

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。（7月24日 現在）

倶楽部名

- （新）立科ゴルフ倶楽部
（旧）立科美香カントリー倶楽部
- （新）イトーピア千葉ゴルフ倶楽部
（旧）イトーピア千葉ゴルフコース

理事長

- 諏訪湖カントリークラブ
（新）宮坂 久臣（旧）山田 一
- 宇都宮カンツリークラブ
（新）藤井 清（旧）前田 明
- 千葉カントリークラブ
（新）茂木 友三郎（旧）坂野 常隆
- 戸塚カントリー倶楽部
（新）成田 豊（旧）吉岡 文平

倶楽部代表者

- 津川カントリークラブ
（新）小林 一三（旧）菅波 有平
（新）青木 勇（旧）伊藤栄三郎
- 立科ゴルフ倶楽部
（新）八木 謙廣
（新）八木 秀夫
- 宇都宮カンツリークラブ
（新）藤井 清（旧）前田 明
（新）荒井 祥（旧）野澤 亨
- 茨城ゴルフ倶楽部
（新）倉持 治（旧）安達 禮二
- サンライスカントリークラブ
（新）高橋 信夫（旧）吉田 博行
（新）二村 英樹
- 筑波カントリークラブ
（新）高橋 勝義（旧）遠藤 朋一
- 高麗川カントリークラブ
（新）網島 春夫（旧）浜中 啓輔
- セントヒルズゴルフクラブ
（旧）中村 弘
（旧）金子 宇一

ゴルフ倶楽部成田ハイッリー

- （新）水野 誠一（旧）片岡 勝太郎
- （新）大西 憲彦（旧）豊田 章一郎

千葉カントリークラブ

- （新）茂木 友三郎（旧）坂野 常隆

東京国際カントリー倶楽部

- （新）岩藤 基宏（旧）源 光信

戸塚カントリー倶楽部

- （新）成田 豊（旧）吉岡 文平

伊東カントリークラブ

- （新）松本 宏（旧）須賀 武

伊東カントリークラブ

- （旧）西山 正昭

支配人

新津カントリークラブ

- （新）城山 卓二（旧）小林 松男

甲斐美香カントリー倶楽部

- （新）坂本 弘（旧）大川 文也

伊香保カントリークラブ

- （新）村田 雅信（旧）斎藤 一郎

伊香保国際カンツリークラブ

- （新）國武 正史（旧）田島 正己

板木カントリークラブ

- （新）渡辺 勇（旧）小田垣政雄

高麗川カントリークラブ

- （新）網島 春夫（総支配人）

セントヒルズゴルフクラブ

- （新）鈴木 孝子

日本カントリークラブ

- （新）森本 忠善（旧）森本 勝男

習志野カントリークラブ キング・ウイーンコース

- （新）小山 淳一（旧）杉田 勝幸

花生カントリークラブ

- （新）塚田 耕士（旧）宮崎 大浩

横浜カントリークラブ

- （旧）松本 秀夫

富士小山ゴルフクラブ

- （新）長田 幸夫（旧）大沼 孝

イトーピア千葉ゴルフ倶楽部

- （新）岩切 卓嗣（総支配人）

東京事務所

- 富士カントリー・芝山ゴルフ倶楽部
（新）〒103-0028
東京都中央区八重洲1-9-13
富士カントリー・株式会社内
TEL03-3275-3611 FAX03-3274-2807

会社名

- 甲斐駒カントリークラブ
（新）（株）甲斐駒カントリークラブ
- アバディン グラフ ゴルフ ソサエティ
（新）（株）ピーアイビーホールディングス

山梨県ゴルフ連盟

- 会長
（新）飯島 耿二（旧）名取 和喜（代行）

理事長

- （新）風間 隆（旧）飯島 耿二

東京都ゴルフ連盟

- 会長
（新）田原 和夫（旧）小宮山義孝
- 事務局長
（新）田原 和夫（代行）（旧）小佐波純夫

◆ ◆ ◆
「KGAニュース」は従来年間4回発行して
来ましたが、特に秋季号と冬季号の発刊月
が著しく接近しておりました。本年は秋季
冬季合併号として内容の充実を図り12月に
発刊し、来年より年3回の発刊といたした
くお知らせ申し上げます。（広報委員会）
◆ ◆ ◆

平成15年8月31日発行 KGA ニュース No.83
発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03) 5275-0391
発行人／吉田 友明 編集／広報委員会